

島内登志衛関係文書目録

2014年2月 PDF作成

国立国会図書館憲政資料室

島内登志衛関係文書目録【凡例】

・目録の記述項目は、請求番号／タイトル／作成者／宛先／年月日／内容／記述法／用紙／備考／数量／付属資料／合綴注記、である。

・目録中〔 〕で囲まれているものは、目録作成者の推定である。

・印刷された資料は、印刷技法を問わず「印刷」とした。

・合綴注記欄には、ひもや封筒などでまとめられたものについて、同じカナ(イ～ン、あ～く)を目録作成者が付した。あるグループの中でさらにまとまりが作られている場合は、カナに加えアルファベットを付した(さらにその中でもまとまりがある場合は数字も付している)。

・目録の構成は、資料全体をまず書簡と書類に分け、書簡の部・書類の部それぞれを内容ごとに細分化した。ただし、『谷干城遺稿』のために収集された谷干城関係書簡の写しは、『谷干城遺稿』編纂関係として、書類の部の中に分類されている。

島内登志衛関係文書目録【目次】

書簡の部	p.1
島内登志衛宛一般書簡	p.1
島内登志衛発信書簡	p.19
家族・親族発信書簡	p.20
書類の部	p.28
自著原稿・資料	p.28
1.『谷干城遺稿』編纂関係	p.28
2.『大正名人録』編纂関係	p.42
3.『頓知物語』編纂関係	p.43
4.『書画売買の手引』編纂関係	p.47
5.その他	p.48
谷子爵家関係	p.50
紹介状・名刺	p.52
メモ・その他	p.56
刊本・写本・切抜類	p.62
1.刊本・写本	p.62
2.刊行物切抜・抜書	p.64
地図	p.68

島内登志衛関係文書目録

請求 番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注 記
書簡の部											
島内登志衛宛一般書簡											
1	青柳幸七書簡	青柳幸七	島内登志衛	大正9年4月15日	当御料牧場立木売払の件、 銃床用クルミ密林の件	墨書			1通	封筒、1枚	ウ
2	青柳幸七書簡	青柳幸七	島内登志衛	大正9年4月29日	クルミ存在地について、発 見者への謝金の件	墨書			1通	封筒、1枚	ウ
3	青柳幸七書簡	青柳幸七	島内登志衛	大正9年5月12日	遠藤小玉発見のクルミ存在 地の件	墨書	罫紙		1通	封筒、1枚	ウ
4	青柳幸七書簡	青柳幸七	島内登志衛	大正9年5月15日	クルミ所在地の略図送付、 五万分の一地図と対照され たい	墨書	罫紙		1通	封筒、1枚	ウ
5	青柳幸七書簡	青柳幸七	島内登志衛	大正9年7月9日	ご送付の地図にクルミ所在 地を追記し返送す、伐出費 用見込み	墨書	罫紙		1通	(1)地図、1枚 / (2)封筒、1枚	ウ
6	安芸喜代香書簡	安芸喜代香	島内登志衛	大正4年5月21日	拙著刊行計画につき高知新 聞掲載原稿等御指定に応じ 送付したい	墨書			1通	封筒、1枚	ホ
7	安芸喜代香書簡	安芸喜代香	島内登志衛	大正4年5月31日	原稿を試みにお手元に送る	墨書			1通	封筒、1枚	ヒ
8	安芸喜代香書簡	安芸喜代香	島内登志衛	大正4年6月3日	本の体裁について承知、貴 命に従い原稿を送る	墨書			1通	封筒、1枚	ヒ
9	安芸喜代香書簡	安芸喜代香	島内登志衛	大正4年6月15日	新著の価格・タイトル・広 告文について	墨書			1通	封筒、1枚	ヒ
10	安芸喜代香書簡	安芸喜代香	島内登志衛	大正4年6月18日	拙稿別封にて送付するの でよろしく取り計らわれた し、叙文執筆依頼	墨書			1通	封筒、1枚	ヒ
11	安芸喜代香書簡	安芸喜代香	島内登志衛	大正4年6月24日	原稿到達の報知感謝、細川 男爵の序文か題字が実現し たらありがたい	墨書			1通	封筒、1枚	ヒ
12	安芸喜代香書簡	安芸喜代香	島内登志衛	大正4年6月26日	通俗道徳の自序等送付	墨書			1通	封筒、1枚	テ
13	安芸喜代香書簡	安芸喜代香	島内登志衛	大正4年7月8日	原稿不足分の送付につき猶 予を願う	墨書			1通	封筒、1枚	ホ
14	安芸喜代香書簡	安芸喜代香	島内登志衛	大正4年7月12日	校正刊受領、残る原稿は駄 作のみなのでここで打切で 如何	墨書			1通	封筒、1枚	テ
15	安芸喜代香書簡	安芸喜代香	島内登志衛	大正4年7月14日	追加原稿送付、間に合わね ば返送願う	墨書			1通	封筒、1枚	テ
16	安芸喜代香書簡	安芸喜代香	島内登志衛	大正4年7月19日	不足分の原稿送付は30日に 帰宅するまで待つてほしい	墨書			1通	(1)封筒、1枚 / (2)ひも、1点	テ
17	安芸喜代香書簡	安芸喜代香	島内登志衛	大正4年7月30日	内務大臣更迭につき別紙送 付	墨書			1通	(1)出版届、1枚 /(2)封筒、1枚	テ
18	安芸喜代香書簡	安芸喜代香	島内登志衛	大正4年8月11日	追加の原稿送付するので差 替えを願う	墨書			1通	封筒、1枚	テ
19	安芸喜代香書簡	安芸喜代香	島内登志衛	大正4年8月20日	拙著常識道話出版感謝、高 知新聞・『高知教育』への 広告掲載依頼されたし	墨書			1通	封筒、1枚	テ
20	安芸喜代香書簡	安芸喜代香	島内登志衛	大正4年11月11日	妻の死去に対する弔状・見 舞金への礼状	墨書			1通	封筒、1枚	サ

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
21	安芸喜代香書簡	安芸喜代香	島内登志衛	大正5年1月17日	拙著に付きご心配感謝、交渉は一任する	墨書			1通	封筒、1枚	サ
22	安芸喜代香書簡	安芸喜代香	島内登志衛	大正8年9月22日	上京中会えず残念、来月上旬再上京するのでそこで拝顔したし	墨書			1通	封筒、1枚	レ
23	秋元達吉書簡	秋元達吉	黒潮社	大正7年2月20日	風邪全快次第参社のつもり	墨書	葉書		1通		ア,a
24	浅山正名書簡	浅山正名	島内登志衛	大正7年12月5日	汚水についての照会回答	ペン	名古屋市役所罫紙		1通	封筒、1枚	へ
25	荒川卓次郎書簡	荒川卓次郎	島内登志衛	大正8年3月6日	志剛の代わりに小生が国内残留することに就きあまりご心配なきよう	墨書			1通	封筒、1枚	
26	荒川卓次郎書簡	荒川卓次郎	島内登志衛	大正8年5月14日	絵はがき送付感謝	墨書			1通	封筒、1枚	へ
27	荒木貞雄書簡	荒木貞雄	島内登志衛	大正元年8月18日	先帝崩御後の政局について、先般来健康を害したため一度豊後に帰郷した	墨書			1通	(1)封筒、1枚 / (2)ひも、1点	シ
28	有安栄書簡	有安栄(三島尋常小学校長)	島内登志衛	明治43年9月16日	『善行大鑑』恵贈感謝、文部大臣の筆跡送付感謝	墨書			1通	封筒、1枚	ユ
29	有安栄書簡	有安栄(三島小学校長)	島内登志衛	大正4年3月9日	『大和民族の犠牲的人格』送付感謝	墨書	香美郡三島小学校用箋		1通	封筒、1枚	タ
30	五十嵐鉄三郎書簡	五十嵐鉄三郎	島内登志衛	大正4年6月12日	貴著珍談集恵贈感謝	墨書			1通	封筒、1枚	テ
31	池澤万寿吉書簡	池澤万寿吉	島内丑	大正12年4月18日	先達て来の件五六日間にいづれかに決定、未設電話の御申越しの件	墨書	葉書		1通		セ
32	石橋■■■書簡	石橋■■■	岩本左武郎	大正12年4月15日	御委嘱の件は先方不在のため未詳	墨書	葉書		1通		セ
33	伊藤義蔵書簡	伊藤義蔵	島内登志衛	10月8日	例の点は別紙の通り、お気づきの点は遠慮なく申し出られたい	墨書			1通	封筒、1枚	シ
34	稲葉岩吉書簡	稲葉岩吉	島内登志衛	明治44年10月20日	貴覧に入れるもの採録されれば幸甚、「反清朝の思想」連載中	墨書	罫紙		1通	(1)封筒、1枚 / (2)ひも、1点	モ
35	稲葉岩吉書簡	稲葉岩吉	島内登志衛	明治44年11月14日	安東省庵贈位を受けて朱舜水研究発表したし	墨書			1通	封筒、1枚	モ
36	井上貞衛書簡	井上貞衛	島内登志衛	大正2年12月23日	手紙感謝、志剛近状	墨書			1通	封筒、1枚	シ
37	井上貞衛書簡	井上貞衛	島内登志衛	[大正3年] 11月25日	志剛の士官学校入学めでたし	墨書			1通	封筒、1枚	シ
38	今里隆次書簡	今里隆次	島内登志衛	大正8年5月23日	ご招待有難いが旧連隊長からの招待あり悪しからず、島内少尉殿の注文品は別紙ハガキの通り	墨書			1通	(1)島内志剛書簡、1通 / (2)封筒、1枚	セ
39	今里隆次書簡	今里隆次	島内登志衛	大正8年6月1日	在京中の厚情感謝、行李中の品目・価格報知願う	ペン	葉書		1通		セ
40	入交信賢書簡	入交信賢(田村富村組合尋常小学校長)	島内登志衛	明治43年7月18日	『善行大鑑』恵贈感謝	墨書			1通	封筒、1枚	ユ

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
41	岩崎英重書簡	岩崎英重	島内登志衛	大正2年7月17日	明治記念博覧会について原稿を書いたので貴紙に掲載してもらえないか	墨書	罫紙		1通	封筒、1枚	エ
42	岩本左武郎書簡	岩本左武郎	島内登志衛	大正4年2月18日	晚餐招待有難いが行けず	墨書			1通	封筒、1枚	タ
43	岩本左武郎書簡	星崖(岩本左武郎)	島内登志衛	大正7年4月28日	『国民新聞』の新刊批評に『大正名人録』発見、シャムでの近況	ペン	小澤大薬房用箋		1通	封筒、1枚	へ
44	岩本左武郎書簡	星崖(岩本左武郎)	島内登志衛	大正7年5月8日	病気見舞い、シャムでの近況	ペン	小澤大薬房用箋		1通	封筒、1枚	へ
45	岩本左武郎書簡	星崖(岩本左武郎)	島内登志衛	大正7年7月29日	造船・チーク材に関する質問への回答	ペン	小澤大薬房用箋		1通	封筒、1枚	へ
46	岩本左武郎書簡	星崖(岩本左武郎)	島内登志衛	大正7年10月23日	チーク材の件で返答催促	ペン	小澤大薬房用箋		1通	封筒、1枚	へ
47	岩本左武郎書簡	岩本左武郎	島内登志衛	大正8年1月1日	チーク材の件断念	ペン	小澤大薬房用箋		1通	封筒、1枚	へ
48	岩本左武郎書簡	星崖(岩本左武郎)	島内登志衛	大正8年2月7日	シャム米の件	ペン	小澤大薬房用箋		1通	封筒、1枚	へ
49	岩本左武郎書簡	星崖(岩本左武郎)	島内登志衛	大正10年4月6日	病気見舞い、帰朝廷引報知	ペン	小澤薬房用箋		1通	封筒、1枚	リ
50	岩本左武郎書簡	星崖(岩本左武郎)	島内登志衛	大正10年5月19日	養生の秘訣、8月末に帰京予定	ペン	小澤大薬房用箋		1通	封筒、1枚	へ
51	岩本左武郎書簡	星崖(岩本左武郎)	島内登志衛	大正10年7月29日	病気見舞い	ペン	小澤大薬房用箋		1通	(1)写真、2枚 / (2)封筒、1枚	へ
52	岩本左武郎書簡	星崖(岩本左武郎)	島内登志衛	大正10年9月20日	病気見舞い	ペン	小澤大薬房用箋		1通	(1)写真、4枚 / (2)封筒、1枚	へ
53	岩本左武郎書簡	岩本左武郎	島内登志衛	大正10年10月10日	君子さんの訃音残念、母が亡くなった	ペン	小澤大薬房用箋		1通	封筒、1枚	へ
54	岩本左武郎書簡	星崖(岩本左武郎)	島内登志衛	大正10年11月28日	老母に続き倅も亡くなった	ペン	小澤大薬房用箋		1通	封筒、1枚	へ
55	岩本左武郎書簡	星崖(岩本左武郎)	島内登志衛	大正10年12月5日	薬草の件	ペン	小澤大薬房用箋		1通	封筒、1枚	へ
56	岩本左武郎書簡	岩本左武郎	島内登志衛	大正11年10月12日	ボラとニロギは釣れ次第届ける	ペン	小澤薬房用箋		1通	(1)封筒、1枚 / (2)ひも、1点	ヨ
57	岩本左武郎書簡	岩本左武郎	島内丑	大正12年2月23日	病気のため貴方の件が進まず申し訳ない、いま一冊づつ見本の送付を願う	ペン	小澤薬房罫紙		1通	封筒、1枚	セ
58	岩本左武郎書簡	岩本左武郎	島内丑子	大正12年4月6日	ご依頼の件は毎日のように石橋君に督促中なるも成否未定	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	セ
59	岩本左武郎書簡	岩本左武郎	島内丑	大正12年4月18日	本日お伺いしたが不在、書類の件過般来石橋君に任せしも進行なし	鉛筆	往復葉書	往信もそのまま残る	1通		セ
60	岩本左武郎書簡	岩本左武郎	島内登志衛	1月31日	シンガポールのゴム価暴落の件	ペン	葉書		1通		リ

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
61	岩本左武郎書簡	岩本左武郎		21日	来訪時不在失礼、現在極めて多忙だがそのうち繰り合わせお伺いする	鉛筆	岩本左武郎名刺		1通		セ
62	上田宣盛書簡	上田宣盛	島内登志衛	大正6年12月30日	大正名人録の衣紋家人名について	墨書			1通	(1)衣紋家人名書上げ、1枚 / (2)封筒、1枚	ナ
63	宇賀光躬書簡	宇賀光躬	島内登志衛	大正9年7月29日	風邪のため明日は失礼するやも、回復次第参上のつもり	ペン	葉書		1通		チ,b
64	宇賀光躬書簡	宇賀光躬	島内登志衛	大正9年8月25日	先日話した件につき当方関係者の承諾を得た	ペン	葉書		1通		チ,b
65	宇賀光躬書簡	宇賀光躬	島内登志衛	大正9年9月12日	14日に例の人物同伴で参上予定	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	チ,b
66	宇賀光躬書簡	宇賀光躬	島内登志衛	大正9年9月24日	新紙の原料得がたきため一時掲載見合わせし	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	リ
67	及川貞助書簡	及川貞助	島内登志衛	大正10年4月8日	名寄の件、北海道の土地の件見込み	墨書			1通		リ
68	及川貞助書簡	及川貞助	島内登志衛	大正10年4月9日	名寄問題の件、亜細亜炭鉱会社株券の件	墨書			1通	(1)封筒、1枚 / (2)ひも、1点	リ
69	及川貞助書簡	及川貞助	島内登志衛	大正10年5月3日	名寄の件	墨書			1通	(1)水上留守宅書簡、1通 / (2)剣淵村耕地図、1枚 / (3)東川村耕地図、1枚 / (4)土地調書、2通 / (5)封筒、1枚	リ
70	及川貞助書簡	及川貞助	島内登志衛	大正10年5月16日	北海道の土地に関して	墨書			1通	封筒、1枚	リ
71	及川貞助書簡	及川貞助	島内登志衛	大正10年5月22日	名寄問題の件、北海道の土地の件	墨書			1通	封筒、1枚	リ
72	及川貞助書簡	及川貞助	島内登志衛	大正11年5月31日	小樽に意外の永滞在のため送付遅延お詫び	墨書			1通	封筒、1枚	ヌ
73	及川貞助書簡	及川貞助	島内登志衛	大正11年6月11日	株の件、名寄の件	墨書	罫紙		1通	(1)支部設置規定追加、1枚 / (2)封筒、1枚	ヌ
74	及川貞助書簡	及川貞助	島内登志衛	大正11年6月14日	旭川力行社経営の件、中央酒造株式会社との交渉	墨書	罫紙		1通	封筒、1枚	ヌ
75	及川貞助書簡	及川貞助	島内登志衛	大正11年7月12日	眼病急変のため入院中、例の件は退院後送付	墨書	葉書		1通		セ
76	及川貞助書簡	及川貞助	島内登志衛	大正11年8月2日	例の月賦金は四五日中に送金	墨書	葉書		1通		セ
77	及川貞助書簡	及川貞助	島内登志衛	6月5日	旭川力行社の営業品目について	墨書	罫紙		1通	封筒、1枚	ヌ
78	太田昇三郎書簡	太田昇三郎	島内登志衛	大正8年5月29日	地所売価調査依頼	墨書、ペン	葉書		1通		チ,a

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
79	太田昇三郎書簡	太田昇三郎	島内丑	大正12年3月2日	お宅訪問後感冒発熱のため降旗代議士訪問できず、今一度ご自身で出向かれたし	墨書	葉書		1通		セ
80	大田原書簡	大田原	島内登志衛	大正8年7月23日	林の直段書と貴兄の御書面見当たらず	墨書	葉書		1通		チ,a
81	大田原書簡	大田原	島内登志衛	大正8年11月7日	訴訟提起痛快	墨書	葉書		1通		チ,a
82	大田原電報	大田原	島内登志衛	大正8年7月22日	主人不在の通知	カーボン			1通		チ,a
83	大田原登次郎書簡	大田原登次郎	島内登志衛	大正8年12月8日	主人が病気のため面会出来ていないが面会出来次第返事をする	墨書	葉書		1通		チ,a
84	大田原登次郎書簡	大田原登次郎	島内登志衛	大正8年12月10日	谷子への訴訟は鈴木の名義では差し支えあり、島内名義の訴訟に証人を出せる	墨書			1通	封筒、1枚	チ,a
85	大田原登次郎書簡	大田原登次郎	島内登志衛	6月4日	明細書返納、なるべく早くことが進むようにしたい	墨書			1通		チ,a
86	大田原登次郎書簡	大田原登次郎	島内登志衛	大正8年11月6日	別紙答書ご送付	墨書			1通	(1)答書、1枚 / (2)封筒、1枚	チ,a
87	大西正義書簡	大西正義	島内登志衛	大正4年8月8日	内相引退ほか各大臣方辞表への感想	墨書			1通	封筒、1枚	テ
88	大原富治郎書簡	大原富治郎 (久保浜呉服店専務取締役)	島内	[大正]	久保浜呉服店の株式購入の勧め	印刷			1通	(1)株式予約申込書、1枚 / (2) [株式募集説明書]、1枚 / (3) [春セールのパラ]、1枚 / (4) 封筒、1枚	セ
89	大原里請書簡	大原里請	島内登志衛	大正3年10月23日	『信濃義人伝』は著者転居先不明、入手次第送付する	墨書			1通	封筒、1枚	シ
90	大平交通企業社書簡	大平交通企業社	島内登志衛	大正11年6月3日		墨書		封筒のみ、「六月六日山本氏へ転送す」と記される	1枚		ソ
91	大平交通企業社書簡	大平交通企業社	島内登志衛	大正11年6月5日		墨書		封筒のみ、「六月六日山本氏へ転送す」と記される	1枚		ソ
92	大平城郎書簡	大平城郎(大平交通企業社)	島内登志衛	大正11年5月14日	阪丹電鉄問題につき東京に事務所開設の件	墨書	罫紙		1通	封筒、1枚	ソ
93	大平城郎書簡	大平城郎(大平交通企業社)	島内登志衛	大正11年5月19日	貴地での取り計らいは貴下らに任せる	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	ソ
94	大町桂月書簡	大町桂月	島内登志衛	大正2年6月21日	序文か例言で読者に伝えるべきことについて	墨書			1通	封筒、1枚	エ
95	大町桂月書簡	大町桂月	島内登志衛	大正2年6月27日				封筒のみ	1通		シ

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
96	岡内重俊書簡	岡内重俊	島内登志衛	大正2年6月18日	金送付通知	墨書			1通	封筒、1枚	エ
97	岡内重俊書簡	岡内重俊	島内登志衛	大正3年6月20日	玄蕃頭比古神の子につき証事文送付感謝、武田勝頼の墓について	墨書			1通	封筒、1枚	メ
98	岡内重俊書簡	岡内重俊	島内登志衛	大正3年6月21日	別紙草案もの返上、伊達兵部の墓が吸江にある由	墨書			1通	封筒、1枚	メ
99	岡田稲城書簡	岡田稲城	島内登志衛	大正4年3月9日	『大和民族の犠牲的人格』送付感謝	墨書			1通	封筒、1枚	タ
100	岡沢慶三郎書簡	岡沢慶三郎	島内登志衛	大正2年12月20日	手紙感謝、志剛には教育上配慮する	墨書			1通	封筒、1枚	シ
101	岡沢慶三郎書簡	岡沢慶三郎	島内登志衛	6月25日	朝比奈氏紹介状	墨書			1通	封筒、1枚	コ
102	岡峯浅次書簡	岡峯浅次	島内登志衛	大正4年3月24日	鯨を発送したが送付先を誤ったのでご対処いただきたい	墨書			1通	封筒、1枚	ホ
103	小川亀市書簡	小川亀市	島内登志衛	大正11年4月12日	二十五万円の件、下谷区・千葉県下土地の件	墨書			1通	封筒、1枚	ネ
104	小川亀市書簡	小川亀市	島内登志衛	大正11年5月8日	別紙については要実地検分のこと、禿山はなかなか好条件	墨書			1通	封筒、1枚	ネ
105	小川亀市書簡	小川亀市	島内登志衛	大正11年5月25日	赤坂の住宅など紹介	墨書			1通	宅地詳細メモ、6枚 / (2)封筒、1枚	ネ
106	小川亀市書簡	小川亀市	島内登志衛	大正11年5月27日	本銀町・源氏山の土地条件詳細	墨書			1通	封筒、1枚	ネ
107	小川亀市書簡	小川亀市	島内登志衛	大正11年5月28日	赤坂の内希望はどこか、四谷番衆町は格好の地ではないか	墨書	葉書		1通		ネ
108	小川亀市書簡	小川亀市	島内登志衛	大正11年5月31日	赤坂は三つ共詳細を先方に申し込み	墨書	葉書		1通		ネ
109	小川亀市書簡	小川亀市	島内登志衛	大正11年6月2日	源氏山の土地売買の件	墨書			1通	封筒、1枚	ネ
110	小川亀市書簡	小川亀市	島内登志衛	大正11年6月4日	源氏山の実権者について	墨書	葉書		1通		ネ
111	小川亀市書簡	小川亀市	島内登志衛	大正11年6月8日	本銀町・源氏山の土地の件	墨書	葉書		1通		ネ
112	小川亀市書簡	小川亀市	島内登志衛	大正11年6月14日	出資条件報告	墨書	葉書		1通		ネ
113	小川亀市書簡	小川亀市	島内登志衛	大正11年6月15日	依頼書の件相談の結果	墨書			1通	封筒、1枚	ネ
114	小川亀市書簡	小川亀市	島内登志衛	大正11年6月29日	源氏山は某保険会社にほぼ話がついた	墨書	葉書		1通		ネ
115	小川亀市書簡	小川亀市	島内登志衛	7月18日	いつでも再交渉に応ず	墨書	葉書		1通	封筒(「小川氏関係」と記される)、1枚	ネ
116	小川亀市書簡	小川亀市	島内登志衛	14日	名望家から土地を二十五万円で借りる件	墨書			1通	封筒、1枚	ネ
117	小川亀市書簡	小川亀市	島内登志衛	15日	小久保に依頼する際の条件	墨書			1通	封筒、1枚	ネ
118	奥宮正治書簡	奥宮正治	島内登志衛	大正3年5月12日	故東山君伝記材料の件で荘田平五郎・恒川新輔に聞き合すべき件について	墨書			1通	封筒、1枚	メ
119	奥宮正治書簡	奥宮正治	島内登志衛	大正3年12月23日	25日に来訪願う	墨書			1通	封筒、1枚	エ
120	奥宮正治書簡	奥宮正治	島内登志衛	大正4年1月26日	手当は支出済みなので受け取られたい	墨書	罫紙		1通	封筒、1枚	エ

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
121	奥宮正治書簡	奥宮正治	島内登志衛	大正4年7月1日	犠牲的の御高著恵贈感謝、重複のため故東山君伝記編纂係のものとする	墨書			1通	封筒、1枚	ホ
122	奥宮正治書簡	奥宮正治	島内登志衛	5月27日	五月分の手当金25円送付	墨書			1通	封筒、1枚	メ
123	香川小源太書簡	香川小源太	島内登志衛	明治43年6月19日	志剛・登志衛の病状見舞い、立憲国民党の勢い	墨書			1通	封筒、1枚	エ
124	香川小源太書簡	香川小源太	島内登志衛	明治43年7月6日	韓海漁業株式会社は有望、『善行大鑑』恵贈感謝	墨書			1通	封筒、1枚	ユ
125	香川小源太書簡	香川小源太	島内登志衛	明治44年2月9日	「亜細亜義会」設立趣意書と雑誌の送付感謝、「亜細亜義会」には入会のつもり、小生最近は政党から距離を置いている	墨書			1通	封筒、1枚	ユ
126	香川小源太書簡	香川小源太	島内登志衛	大正2年6月17日	三島村会議員改選で我党が多数派に、中央政界についての感想	墨書			1通	封筒、1枚	エ
127	香川小源太書簡	香川小源太	島内登志衛	大正2年10月7日	『谷干城遺稿』恵贈感謝、森氏建碑への貢献感謝、高岡郡補選浜口氏当選の見込み	墨書			1通	封筒、1枚	エ
128	香川小源太書簡	香川小源太	島内登志衛	大正3年7月16日	大隈内閣は当地にて歓迎される、貴兄の同志会への感想は如何、高知政友派支部は鉄道問題で支持拡大	墨書			1通	封筒、1枚	シ
129	香川小源太書簡	香川小源太	島内登志衛	大正7年4月30日	病状見舞い	墨書			1通	封筒、1枚	ア,a
130	香川小源太書簡	香川小源太	島内登志衛	大正7年6月25日	病気全快祝い	墨書			1通	封筒、1枚	コ
131	香川小源太書簡	香川小源太	島内登志衛	大正8年10月12日	高知県政情報	墨書			1通	封筒、1枚	レ
132	香川小源太書簡	香川小源太	島内登志衛	大正10年2月21日	弔慰への礼、病状見舞	墨書			1通	封筒、1枚	へ
133	学童保護奨励会書簡	学童保護奨励会	島内志道	大正12年4月10日	稲毛遠足への出欠連絡を願う	印刷	往復葉書		1通		セ
134	加藤義清書簡	加藤義清	島内登志衛	明治44年2月27日	千頭清臣に伝言の件、夢枕の絵画の件	墨書			1通	封筒、1枚	ユ
135	加藤義清書簡	加藤義清	島内登志衛	4月1日	御歌所寄人就任祝い感謝	墨書			1通	封筒、1枚	セ
136	加藤昌夫書簡	加藤昌夫	島内登志衛	大正6年12月21日	当地装束師住所氏名報知	墨書			1通	(1)封筒、1枚 / (2)ひも、1点	ナ
137	門脇恒実書簡	門脇恒実	島内登志衛	明治45年6月27日	田内氏は中央の実業界に入りたき由、先生のご配慮に預かりたく貴下にもご配慮願う	墨書			1通	封筒、1枚	モ
138	門脇恒実書簡	門脇恒実	島内登志衛	大正元年10月4日	田内氏の件につき経過報告願う	墨書			1通	封筒、1枚	シ
139	兼松茂頼書簡	兼松茂頼	島内登志衛	大正8年6月16日	ご来訪時の不在への詫び	墨書			1通	封筒、1枚	コ
140	川田明治書簡	川田明治	島内登志衛	明治44年2月16日	礼状	墨書			1枚		
141	川田明治書簡	川田明治	島内登志衛	大正8年5月6日	進級祝い礼状	墨書			1通	封筒、1枚	へ
142	桐野書簡	桐野	池田	[明治6年] 4月11日	金子受け取り	墨書	罫紙	「桐野ノ書ノ写」と記された付箋あり	1綴		

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
143	楠瀬幸彦書簡	楠瀬幸彦	島内登志衛	大正5年10月13日	進捗の報知をいただきたい	墨書			1通	封筒、1枚	エ
144	久世通章書簡	久世通章	島内登志衛	大正6年12月25日	蹴鞠の当代代表的人物について	墨書			1通	蹴鞠人名書上げ、1枚 / (2)封筒、1枚	ナ
145	久世通章書簡	久世通章	島内登志衛	大正7年1月9日	村岡力氏のことについて	墨書			1通	封筒、1枚	ナ
146	久保義三郎書簡	久保義三郎	島内登志衛	大正8年5月31日	土地拝見の予定について	墨書			1通		チ,a
147	久保書簡	久保	島内登志衛	5月31日	土地拝見の予定について	墨書	罫紙	146の写し	1通		チ,a
148	久保義三郎書簡	久保義三郎	島内登志衛	大正8年7月8日	土地の事で先方から当方へは連絡なし	墨書			1通		チ,a
149	久保義道書簡	久保義道	島内登志衛	明治43年6月22日	橋本氏帰省の際近状を聞いた、鉄道の件	墨書			1通	(1)線路延長の件メモ、1枚 / (2)封筒、1枚	エ
150	久保義道書簡	久保義道	島内登志衛	明治43年7月21日	『善行大鑑』恵贈感謝、湘南遊歴羨まし、白帆も天竜川地方遊歴中	墨書			1通	封筒、1枚	ユ
151	久保義道書簡	久保義道	島内登志衛	大正2年12月27日	手術・治療の経過	墨書			1通	封筒、1枚	エ
152	窪田新太郎書簡	窪田新太郎	島内登志衛	明治45年7月5日	谷將軍遺稿編纂について新聞で知った、現在金沢勤務	墨書			1通	封筒、1枚	シ
153	隈部又雄書簡	隈部又雄	島内登志衛	大正5年6月7日	挨拶状への礼、書籍への礼	墨書			1通	封筒、1枚	エ
154	隈部又雄書簡	隈部又雄	島内登志衛	大正6年3月9日	志剛には気長にご加療されたいし、長期に勤務不可能なら休職出願が至当	墨書			1通	封筒、1枚	サ
155	隈部又雄書簡	隈部又雄	島内登志衛	大正6年4月24日	志剛退院祝い	墨書			1通	封筒、1枚	サ
156	隈部又雄書簡	隈部又雄	島内登志衛	大正6年5月28日	志剛病状見舞い	墨書			1通	(1)封筒、1枚 / (2)ひも、1点	ア
157	隈部又雄書簡	隈部又雄	島内登志衛	大正8年2月23日	お話の件の進捗について	墨書			1通	封筒、1枚	コ
158	隈部又雄書簡	隈部又雄	島内登志衛	大正5年11月25日	『国民皆兵主義』送付感謝、志剛少尉任官の件	墨書			1通	封筒、1枚	エ
159	公文正史書簡	公文正史	島内登志衛	大正5年8月3日	地方議員要覧編纂のための材料送付、職業は不分明の者あり	墨書			1通	封筒、1枚	ミ
160	栗島■■書簡	栗島■■	島内登志衛	5月18日	本日訪問できなくなった	墨書	葉書		1通		へ
161	黒潮社書簡	黒潮社	桜井久吉	大正7年2月19日	『大正名人録』販売の打ち合わせにつき来社願う	ペン	葉書		1通	ひも、1点	ア,a
162	梧井書簡	梧井	島内登志衛	明治44年12月16日	谷干城の書簡で手元に残るのは5~6通で面白くないが必要なら送る、ほかに加藤氏当選時の往復書簡や大隈伯が外務大臣時の矢野文雄書簡がある	墨書			1通	封筒、1枚	モ
163	高知新聞社書簡	高知新聞社	島内登志衛	大正10年9月	県人知名紳士録編纂への協力依頼	印刷、ペン			1通	(1)記入用紙、1枚 / (2)封筒、1枚	セ
164	小松原■■書簡	小松原■■	島内登志衛	大正6年7月31日	暑中見舞い	墨書	葉書		1通		
165	阪井重季書簡	阪井重季	島内登志衛	6月25日	ご送付いただいた本と同本を山内家からいただいたので一冊返上	墨書	罫紙		1通	封筒、1枚	モ

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
166	坂本一書簡	坂本一	島内登志衛	明治43年7月16日	池田氏の件依頼し置いたが成否は本人次第、『善行大鑑』恵贈感謝	墨書			1通	封筒、1枚	ユ
167	坂本一書簡	坂本一	島内登志衛	明治44年6月6日	祝電礼状	墨書			1通	封筒、1枚	モ
168	坂本一書簡	坂本一	島内登志衛	大正2年4月15日	『明治聖皇』恵贈感謝	墨書			1通	封筒、1枚	シ
169	坂本一書簡	坂本一	島内登志衛	大正6年7月28日	暑中見舞い	墨書	葉書		1通		
170	坂本今子書簡	坂本今子	島内丑	3月5日	紐の店お調べ感謝、寺村氏の手紙お目にかける	ペン	罫紙		1通	(1)寺村清水書簡、1通 / (2)封筒、1枚	セ
171	坂本和吉書簡	坂本和吉	島内登志衛	大正4年5月19日	3月23日帰着以来高松掩留、早く大連に戻りたし	墨書			1通	封筒、1枚	ヒ
172	貞広為太郎・北村礼三書簡	貞広為太郎(岩村尋常小学校長)・北村礼三(岩村高等小学校長)	島内登志衛	明治43年7月14日	『善行大鑑』恵贈感謝	墨書			1通	封筒、1枚	ユ
173	佐藤実道書簡	佐藤実道	島内登志衛	大正11年4月6日	松竹キネマ会社所有の活動写真館を担保に借金を引き受けてもらえるか	ペン	罫紙		1通	(1)封筒、1枚 / (2)ひも、1点	ツ,a
174	佐藤実道書簡	佐藤実道	島内登志衛	大正11年4月11日	活動館が好結果を得るよう尽力依頼	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	ツ,a
175	佐藤実道書簡	佐藤実道	島内登志衛	大正11年4月14日	借金の条件につき補足	ペン	葉書		1通		ツ,a,1
176	佐藤実道書簡	佐藤実道	島内登志衛	大正11年4月16日	借入申込書は一両日中に送付、はがきの内容をご放念願う	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	ツ,a,1
177	佐藤実道書簡	佐藤実道	島内登志衛	大正11年7月1日	活動館復活困難、多摩川沿岸に売地あり	ペン	葉書		1通		ツ
178	皿井法夫書簡	皿井法夫	島内登志衛	大正6年2月5日	御交渉の件は暫時中止	墨書			1通	封筒、1枚	シ
179	澤本孟虎書簡	澤本孟虎	島内登志衛	大正11年8月4日	暑中見舞い、引越し通知	印刷、墨書	葉書		1通		セ
180	敷島文雄書簡	敷島文雄	島内登志衛	大正6年12月8日	竹刀師・道具屋の名前	墨書			1通	封筒、1枚	ナ
181	篠科書簡	篠科	島内丑	大正11年8月	かねての件は9日限りで質流れとする	ペン	葉書		1通		セ
182	柴田駒三郎書簡	柴田駒三郎	島内登志衛	大正4年1月29日	高著の序文執筆遅れのお詫び	墨書			1通	(1)『大和民族の犠牲的人格』序文、1枚 / (2)封筒、1枚 / (3)ひも、1点	キ
183	柴田駒三郎書簡	柴田駒三郎	島内登志衛	大正4年2月25日	御著書と泰山集の寄贈感謝	墨書			1通	封筒、1枚	タ
184	島田三郎書簡	島田三郎	島内登志衛	2月24日	ご囑託の文を日英版両方送る	墨書			1通	(1)奥宮正治書簡、1通 / (2)封筒、1枚	メ
185	島村駒吉書簡	島村駒吉	島内登志衛	大正3年6月20日	浜松発時間変更の連絡	墨書			1通	封筒、1枚	メ

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
186	島村速雄・国沢新兵衛書簡	島村速雄・国沢新兵衛	島内登志衛	大正11年7月20日	7月26日に山内容堂公五十年祭典を執行するので出席ありたし	印刷、墨書			1通	(1)山内容堂公五十年祭典次第、1枚 / (2)容堂公五十年祭典費予算表、1枚 / (3)封筒、1枚	セ
187	しみづよしお書簡	しみづよしお	島内登志衛	大正6年7月11日	近況報告	ペン			1枚		
188	下條正雄書簡	下條正雄	島内登志衛	大正6年11月8日	書画鑑定家の名前報知	墨書			1通	封筒、1枚	ナ
189	周鎮岳書簡	周鎮岳	島内登志衛	明治43年12月11日	転居通知	墨書	葉書		1通	ひも、1点	ユ
190	真成無尽株式会社書簡	真成無尽株式会社	島内丑	大正12年5月31日	先般の請求の件で相談したき事あり来社願う	カーボン	真成無尽株式会社罫紙		1通	封筒、1枚	シ
191	杉村逸楼書簡	杉村逸楼	島内登志衛	大正11年4月21日	祝詞感謝、今年の司法官会議には出席せず	墨書			1通	封筒、1枚	へ
192	鈴木権之助書簡	鈴木権之助	島内登志衛	大正8年5月17日	石炭鉱区・鉄道用枕木・電柱につき照会の件回答	墨書			1通	封筒、1枚	フ,a
193	鈴木昇造書簡	鈴木昇造	島内登志衛	大正11年6月6日	貴命により昨夜大阪に疎書呈す	墨書	葉書		1枚		ト
194	鈴木昇造書簡	鈴木昇造	島内登志衛	大正11年9月26日	黒鉛発送通知	墨書	葉書		1通		セ
195	須藤光暉書簡	須藤光暉	島内登志衛	大正2年7月7日	校正は一昨日校了	墨書			1通	封筒、1枚	シ
196	須藤光暉書簡	須藤光暉	島内登志衛	大正2年7月8日	例言の部分から自分の名は消してほしい	墨書			1通	封筒、1枚	シ
197	須藤光暉書簡	須藤光暉	島内登志衛	大正2年7月25日	智囊わかったか、15円拝借できるか	墨書			1通	封筒、1枚	エ
198	住江誠房書簡	住江誠房	島内登志衛	4月9日	北岡汎愛(元宮崎毎日新聞記者)紹介	墨書			1通	封筒、1枚	ホ
199	関田駒吉書簡	関田駒吉	島内登志衛	大正10年12月2日	進級祝い礼状	墨書			1通	封筒、1枚	へ
200	関根福太郎書簡	関根福太郎	島内登志衛	大正12年4月30日	鉦山測量製図等事業開業通知	印刷			1通	封筒、1枚	セ
201	太洋社書簡	太洋社	黒潮社	大正12年4月13日	ご出版品中格安の残本あれば全部現金にて買い受けましたし	印刷、ペン	往復葉書	返信未使用	1通		セ
202	田岡書簡	田岡	島内	4月29日	預かった書籍の売りさばきの件	墨書			1通	封筒、1枚	セ
203	田岡正■書簡	田岡正■	島内登志衛	大正7年3月13日	『大正名人録』送付感謝	墨書			1通	封筒、1枚	サ
204	田岡正■書簡	田岡正■	島内登志衛	大正8年2月9日	文字引受所開設賛成	墨書			1通	封筒、1枚	へ
205	田岡正■書簡	田岡正■	島内登志衛	大正11年6月30日	お申し越しの書籍近日持参の予定	墨書	葉書		1枚		ト
206	高木斐川書簡	高木斐川	島内登志衛	大正元年9月26日	雑誌の件で相談したいことあり、都合ご報知願う	墨書	罫紙		1通	封筒、1枚	シ
207	高場書簡	高場	弘田直衛	8日	稿本不成功の由、明後日立ち寄りありたい	墨書	葉書		1通		へ
208	竹内久隆書簡	竹内久隆	島内登志衛	明治45年3月20日	『谷干城遺稿』注文申し込み	墨書			1通	封筒、1枚	モ
209	竹内久隆書簡	竹内久隆	島内登志衛	大正5年3月7日	池知先生記念碑建碑への助力願	墨書			1通	封筒、1枚	エ

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
210	竹内久隆書簡	竹内久隆	島内登志衛	大正5年6月6日	池知先生建碑に名義を連ねてほしい	墨書			1通	封筒、1枚	エ
211	武田秀雄書簡	武田秀雄	島内登志衛	大正3年3月22日	煉炭製造所事件の渦中で親切な手紙をいただき感謝	墨書			1通	(1)封筒、1枚 / (2)ひも、1点	メ
212	武田秀雄書簡	武田秀雄	島内登志衛	大正4年8月20日	来訪時不在の詫び	墨書			1通	封筒、1枚	エ
213	棚橋一郎書簡	棚橋一郎	島内登志衛	大正2年4月12日	『谷干城遺稿』恵贈感謝	墨書		後欠	1通	封筒、1枚	シ
214	近森演義書簡	近森演義	島内登志衛	大正10年2月26日	鳥居氏よりの手紙転送、弘田氏が見舞いに来た	墨書			1通	(1)近森演義宛鳥居赫雄書簡、1通 / (2)封筒、1枚	へ
215	千頭■■書簡	千頭■■	島内登志衛	大正5年3月29日	全体の機関少々ゆるみ、津寄氏へよろしく	墨書	葉書		1通		エ
216	千頭清臣書簡	千頭清臣	島内登志衛	大正2年7月8日	板橋書簡参考までに転送	墨書			1通	(1)板橋原一書簡、1通 / (2)封筒、1枚	シ
217	中央義士会書簡	中央義士会	島内登志衛	6月13日	年会費支払依頼	印刷	葉書		1通		セ
218	朝鮮銀行書簡	朝鮮銀行	島内登志衛			墨書		封筒のみ	1通		セ
219	辻村楠造書簡	辻村楠造	島内登志衛	6月6日	11日赤坂三河屋への招待	墨書			1通	封筒、1枚	シ
220	土屋元作書簡	土屋元作	島内登志衛	明治45年6月26日	『谷干城遺稿』は大阪朝日に寄贈なきため新刊紹介に載らず	墨書			1通	封筒、1枚	モ
221	土屋元作書簡	土屋元作	島内登志衛	11月1日	『谷干城遺稿』送付感謝、まもなく退院の予定	墨書			1通	(1)封筒、1枚 / (2)ひも、1点	レ
222	帝国実業貯蓄銀行書簡	帝国実業貯蓄銀行	島内登志衛	大正11年8月16日	約束手形の期限が迫るにつき通知	印刷、ペン			1通	封筒、1枚	セ
223	土居稻生書簡	土居稻生	島内	大正12年3月4日	転居通知	印刷、ペン	葉書		1通		セ
224	東京書籍商組合事務所書簡	東京書籍商組合事務所	島内登志衛	大正11年10月5日	ご依頼の木版作成は一個一円程度	墨書			1通	(1)島内登志衛書簡、1通 / (2)封筒、1枚	セ
225	東京堂書店書簡	東京堂書店	島内登志衛	大正11年9月13日	書物委託引き受けの件	ペン	葉書		1通		セ
226	徳弘有隣書簡	徳弘有隣	島内登志衛	明治43年8月15日	組合小学校へ『善行大鑑』恵贈感謝、大洪水見舞い	墨書			1通	封筒、1枚	ユ
227	とし子書簡	とし子	島内幸子	9月14日	転校後のあいさつ	ペン	絵葉書		1通		セ
228	富田■■書簡	富田■■(香美郡三島村村長)	島内登志衛	大正4年3月8日	著書寄贈への礼状	墨書			1通	(1)封筒、1枚 / (2)ひも、1点	タ
229	鳥居赫雄書簡	鳥居赫雄	島内登志衛	大正元年9月16日	『谷干城遺稿』恵贈感謝	墨書			1通	封筒、1枚	シ
230	鳥居赫雄書簡	鳥居赫雄	島内登志衛	大正2年7月25日	ご出版物二部接手、一部は書籍批評係主任長谷川如是閑に渡す	ペン	THE OSAKA ASAHISHI MBUN用箋		1通	封筒、1枚	エ
231	鳥居赫雄書簡	鳥居赫雄	島内登志衛	大正7年3月10日	『大正名人録』送付感謝	ペン	大阪朝日新聞社用箋		1通	封筒、1枚	サ
232	鳥居赫雄書簡	鳥居赫雄	島内登志衛	2月12日	池辺三山の筆跡を分けてほしい	墨書			1通		リ

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
233	内藤高治書簡	内藤高治	島内登志衛	大正6年11月29日	依頼された人名・住居記入書式の回送通知	墨書			1通	封筒、1枚	ナ
234	長尾書簡	長尾	島内登志衛	大正11年	近況報告	ペン			1枚		
235	長尾良博書簡	長尾良博	島内登志衛	明治43年7月5日	『善行大鑑』恵贈感謝	墨書			1通	封筒、1枚	ユ
236	長尾良博書簡	長尾良博	島内登志衛	明治45年3月22日	お尋ねの件を当市小松網店に確認した結果を送る	墨書			1通	(1)〔網・ガスの代金書き上げ〕、1枚 / (2)封筒、1枚	モ
237	長尾良博書簡	長尾良博	島内登志衛	大正2年12月24日	恵贈感謝、不折の潤毫ことに嬉し、息子良樹が音楽修業に上京予定	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	エ
238	長尾良博書簡	長尾良博	島内登志衛	9月29日	近況報告	ペン			1枚		
239	中澤勝弥書簡	中澤勝弥	島内登志衛	大正4年6月22日	本年は米価安物価高で金子工面難し、損失する木はやめては如何	墨書			1通	封筒、1枚	ヒ
240	中澤勝弥書簡	中澤勝弥	島内登志衛	大正10年2月16日	見舞状	墨書	葉書		1通		ヘ
241	中澤勝弥書簡	中澤勝弥	島内登志衛	大正11年4月10日	親族の近況	墨書			1通	封筒、1枚	セ
242	中野実次郎書簡	中野実次郎	島内登志衛	大正6年3月22日	松実氏宛に書簡を送って援護してほしい	墨書			1通	封筒、1枚	サ
243	中野実次郎書簡	中野実次郎	島内登志衛	大正6年5月10日	選挙の際の高配感謝、中島町の横町の葉舗主人へ感謝伝声願う、田所次官へも欠敬の詫び伝声願う	墨書			1通	封筒、1枚	サ
244	長森書簡	長森	島内登志衛	大正8年3月1日	帝室林野整理局前支局長の現任地について	墨書	罫紙		1通	封筒、1枚	コ,b
245	長森書簡	長森	島内登志衛	大正8年4月14日	明日お立寄りを乞う	墨書	葉書		1通		コ,b
246	長森書簡	長森	島内登志衛	大正8年4月30日	明日お立寄りを乞う	墨書	葉書		1通		コ,b
247	長森書簡	長森	島内登志衛	大正8年5月9日	北海木工の件	墨書	葉書		1通		コ,b
248	長森書簡	長森	島内登志衛	大正8年7月5日	明日来車を乞う	墨書	葉書		1通		コ,b
249	長森書簡	長森	島内登志衛	大正8年7月12日	岩手県大槌の御料地貸下の件	墨書	葉書		1通	ひも、1点	コ,b
250	長森書簡	長森	島内登志衛	7月9日	満洲炭鉱の件	墨書	葉書		1通		コ,b
251	長森書簡	長森	島内登志衛	7月29日	月形監獄の件を及川に話すのは見合されたい	墨書	葉書		1通		コ,b
252	中屋則哲書簡	中屋則哲	島内登志衛	大正2年12月5日	令息の件につき岡沢連隊長からの回答送付	墨書			1通	(1)岡沢書簡、1通 / (2)封筒、1枚	エ
253	西内基八書簡	西内基八	島内登志衛	大正2年5月11日	大町桂月と共に製本めでたし、金子の儀は承知ほか主人年祝の礼に粗茶送る、物部の件は是非請求された方がよい	墨書	罫紙		1通	封筒、1枚	エ
254	西内知代書簡	西内知代	島内丑	大正12年5月3日	物部の件は是非請求された方がよい	墨書			1通	封筒、1枚	セ
255	日本弘道会有志青年部・中央義士会・皇民会書簡	日本弘道会有志青年部・中央義士会・皇民会	島内登志衛	大正12年4月2日	4月7日加藤咄堂先生歓迎会の案内	印刷	往復葉書	返信未使用	1通		セ
256	能勢素海書簡	能勢素海	島内登志衛	大正4年8月30日	地方支局における知人名前書上げ送付	墨書			1通	封筒、1枚	テ

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
257	能勢素海書簡	能勢素海	島内	4月15日	大分市専売局出張長に転任の通知	ペン	葉書		1通		セ
258	〔能勢素海書簡〕	素海	島内登志衛	19日	名刺は予定通り8日に出来たが渡すのが遅れ面目ない、小生の名義が役に立つなら遠慮なく申し聞かれない	墨書			1通	封筒、1枚	ホ
259	野田正吉書簡	野田正吉	島内登志衛	大正4年4月13日	衆議院選の県内の結果について	墨書			1通	(1)大正4年3月25日衆議院議員総選挙県下成績一覧表、1枚 / (2)封筒、1枚	ホ
260	萩原新正書簡	萩原新正	島内登志衛	大正2年5月15日	島内登志衛著『明治聖皇』の事実誤認につき指摘	ペン			1通	封筒、1枚	メ
261	橋本亀治書簡	橋本亀治	島内登志衛	明治43年7月29日	野市小学校への『善行大鑑』恵贈感謝、小生は明治39年より野市小学校に転勤しおり、野市小学校は校舎全部改築	墨書	罫紙		1通	封筒、1枚	ユ
262	橋本亀治書簡	橋本亀治(野市小学校長)	島内登志衛	明治43年9月3日	現文部大臣の揮毫送付感謝、水害見舞い	墨書			1通	封筒、1枚	ユ
263	橋本亀治書簡	橋本亀治	島内登志衛	大正8年7月10日	高等師範学校での講習の为上京するので下宿の世話を願う	墨書			1通	封筒、1枚	レ
264	橋本亀治書簡	橋本亀治	島内登志衛	大正8年8月14日	在京中の厚情への礼状	墨書			1通	(1)封筒、1枚 / (2)ひも、1点	コ,a
265	橋本亀治書簡	橋本亀治	島内登志衛	大正8年8月21日	在京中のことへの礼状、無事帰県の通知	墨書			1通	封筒、1枚	コ,a
266	橋本亀治書簡	橋本亀治	島内登志衛	大正10年3月7日	病氣見舞、近況報告	墨書			1通	封筒、1枚	ヘ
267	橋本書簡	橋本	島内登志衛	明治43年6月15日	来訪依頼	ペン			1枚		
268	馬場又吉書簡	馬場又吉	島内登志衛	大正8年8月17日	至急返金願	墨書	葉書		1通		コ
269	馬場又吉書簡	馬場又吉	島内登志衛	大正9年12月21日	当方も整理を急いでいるためお申越の利率で承諾、但し公正証書で願う	墨書	三成社恩給部罫紙		1通	封筒、1枚	セ,a
270	馬場又吉書簡	馬場又吉	島内登志衛	大正10年3月15日	受取の件先日相談通り解決ありたし	墨書	葉書		1通		セ,a
271	馬場又吉書簡	馬場又吉	島内登志衛	大正10年12月19日	病氣中ゆえ返済の催促は延引してきたが営業者としてはいつまでも放置できず何らかの返済を願う	墨書	三成社恩給部罫紙		1通	封筒、1枚	セ,a
272	馬場又吉書簡	馬場又吉	島内丑	大正12年5月29日	用立て金返済催促	墨書	葉書		1通		
273	馬場又吉書簡	馬場又吉	島内登志衛		借金の整理としては公正証書にするか百円につき利子2円50銭程度の私署証書に切り替えるかのいずれか	墨書	三成社恩給部罫紙		1通	封筒、1枚	セ,a
274	濱田勝吉書簡	濱田勝吉	島内登志衛	明治43年7月28日	『善行大鑑』恵贈感謝	墨書			1通	封筒、1枚	ユ

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
275	原孫六法律事務所書簡	原孫六法律事務所	島内登志衛	大正8年11月3日	明日午後二時に来訪を乞う	墨書	葉書		1通		チ,c
276	原孫六法律事務所書簡	原孫六法律事務所	島内登志衛	大正8年11月24日	明日午後二時に来訪を乞う	ペン	葉書		1通		チ,c
277	原孫六法律事務所書簡	原孫六法律事務所	島内登志衛	大正8年12月19日	出訴のため明日午前九時に来訪を乞う	墨書	葉書		1通		チ,c
278	原孫六法律事務所書簡	原孫六法律事務所	島内登志衛	大正10年2月28日	谷氏に対する件この際訴訟提起すべく来訪を乞う	ペン	葉書		1通		チ
279	肥田鎮夫書簡	肥田鎮夫	島内登志衛	大正2年12月1日	士官候補生訓育を命ぜらる、ご希望あれば申し越されたい	墨書			1通	封筒、1枚	エ
280	肥田鎮夫書簡	肥田鎮夫	島内登志衛	大正2年12月31日	島内志剛成績通報・士官候補生心得送付通知	墨書、カーボン	陸軍罫紙	成績通報・士官候補生心得は書簡と綴りあわされている	1通	封筒、1枚	メ
281	平松米三書簡	平松米三	島内登志衛	大正2年5月11日	小生の校訂不十分なのは御気の毒、鎌倉に行くため一旦原稿全部を返却				1通		エ
282	平松書簡	平松	島内登志衛	18日	太田兄からの伝言により別封書籍と原稿を送付する	墨書			1通	封筒、1枚	エ
283	弘田徳三郎書簡	弘田徳三郎	島内登志衛	大正4年5月28日	先般来依頼の件、煙草専売所扱いの件	墨書			1通	封筒、1枚	ホ
284	弘田徳三郎書簡	弘田徳三郎	島内登志衛	6月29日	当面政党的の圏外に起立することとした、在京の同志にご伝声願う、田村材吉町長辞任を受け赤岡町の名誉町長となる	墨書			1通	封筒、1枚	モ
285	弘田直衛書簡	弘田直衛	島内登志衛	明治45年6月7日	昨日の礼	墨書			1通	封筒、1枚	モ
286	弘田直衛書簡	弘田直衛	島内登志衛	大正8年11月3日	原弁護士との契約の件	ペン	封緘葉書		1通		チ,c
287	弘田直衛書簡	弘田直衛	島内登志衛	大正9年	債権譲渡証を提出すべし	朱墨書	葉書		1通		チ,c
288	弘田直衛書簡	弘田直衛	島内登志衛	大正10年7月29日	豊川氏への面会うまくいかず	ペン			1通	(1)封筒、1枚 / (2)ひも、1点	リ,a
289	弘田直衛書簡	弘田直衛	島内登志衛	大正10年8月18日	印刷の件は澤本印刷も駄目	ペン	葉書		1通		リ,a
290	弘田直衛書簡	弘田直衛	山崎信樹	大正11年4月18日	淡中氏からの学資助力の件	ペン	封緘葉書		1通		ソ,a
291	弘田直衛書簡	弘田直衛	島内登志衛		原氏が弁護士と決定、近々訴訟提起	ペン	葉書		1通		チ,b
292	福島成行書簡	福島成行	島内登志衛	明治44年9月9日	百将伝は依頼により執筆する、履歴書送付するので斡旋頼む	墨書			1通	封筒、1枚	モ
293	福島成行書簡	福島成行	島内登志衛	明治45年6月14日	文体について天耕氏の意見を聞く必要なし、百将伝と原稿紙はひとまず返送する	墨書	罫紙		1通	封筒、1枚	モ
294	福岡(カ)兼子書簡	福岡(カ)兼子	島内登志衛	大正3年7月23日	礼状	ペン			1枚		
295	福島寅書簡	福島寅	島内登志衛	大正2年7月24日	兼馬滞京中の世話感謝	墨書			1通	(1)封筒、1枚 / (2)ひも、1点	エ

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
296	福永尊介書簡	福永尊介	島内登志衛	大正3年4月8日	面会したいので都合報知願う	墨書			1通	封筒、1枚	メ
297	福西善五郎書簡	福西善五郎	島内登志衛	大正11年3月13日	南千住の土地を担保にした借金の件	墨書	罫紙		1通	(1)土地略図、1枚 / (2)封筒、1枚	ト
298	福西善五郎書簡	福西善五郎	島内登志衛	大正11年4月15日	宅地を担保にした借金の件	墨書	葉書		1枚		ト
299	福西善五郎書簡	福西善五郎	島内登志衛	大正11年5月27日	地所購入の件	墨書	葉書		1枚		ト
300	福西善五郎書簡	福西善五郎	島内登志衛	大正11年5月30日	地所購入の件	墨書	葉書		1枚		ト
301	福西善五郎書簡	福西善五郎	島内登志衛	大正11年5月31日	地所購入の件	墨書	葉書		1枚		ト
302	福西善五郎書簡	福西善五郎	島内登志衛	大正11年6月3日	地所購入の件	墨書	葉書		1枚		ト
303	福西善五郎書簡	福西善五郎	島内登志衛	大正11年6月5日	株・社債・刀剣を担保にした借金の件	墨書	葉書		1枚		ト
304	福西善五郎書簡	福西善五郎	島内登志衛	大正11年6月6日	地所購入の件	墨書	葉書		1枚		ト
305	福西善五郎書簡	福西善五郎	島内登志衛	大正11年6月10日	亀井戸の件	墨書	葉書		1枚		ト
306	福西善五郎書簡	福西善五郎	島内登志衛	大正11年6月14日	亀井戸の件は断然謝絶した	墨書	葉書		1枚		ト
307	福西善五郎書簡	福西善五郎	島内登志衛	大正11年6月17日	銀行買い取りの件	墨書	葉書		1枚		ト
308	福西善五郎書簡	福西善五郎	島内登志衛	大正11年6月18日	銀行売物また2つ申込あり	墨書	葉書		1枚		ト
309	福西善五郎書簡	福西善五郎	島内登志衛	大正11年7月3日	地所購入の件	墨書	葉書		1枚		ト
310	福西善五郎書簡	福西善五郎	島内登志衛	大正11年7月5日	地所購入の件	墨書	葉書		1枚		ト
311	福西善五郎書簡	福西善五郎	島内登志衛	大正11年7月6日	地所購入の件	墨書	葉書		1枚		ト
312	福西善五郎書簡	福西善五郎	島内登志衛	大正11年7月9日	地所購入の件	墨書	葉書		1枚		ト
313	福西善五郎書簡	福西善五郎	島内登志衛	大正11年7月12日	水戸家買邸の件	墨書	葉書		1枚		ト
314	福西善五郎書簡	福西善五郎	島内登志衛	3月20日	千住の件につき探聞の結果	墨書	葉書		1枚		ト
315	福西善五郎書簡	福西善五郎	島内登志衛	3月26日	千住の件は断念	墨書	葉書		1枚		ト
316	福西善五郎書簡	福西善五郎	島内登志衛	4月28日	宅地を担保にした借金の件	墨書	葉書		1枚		ト
317	福西善五郎書簡	福西善五郎	島内登志衛	5月13日	地所購入の件	墨書	葉書		1枚		ト
318	福西善五郎書簡	福西善五郎	島内登志衛	5月19日	宅地を担保にした借金の件	墨書	葉書		1枚		ト
319	福西善五郎書簡	福西善五郎	島内登志衛	5月24日	宅地を担保にした借金の件	墨書	葉書		1枚		ト
320	福西善五郎書簡	福西善五郎	島内登志衛	5月28日	宅地を担保にした借金の件	墨書	葉書		1枚		ト
321	福西善五郎書簡	福西善五郎	島内登志衛	6月1日	地所購入の件	墨書	葉書		1枚		ト
322	福西善五郎書簡	福西善五郎	島内登志衛	6月1日	宅地を担保にした借金の件	墨書	葉書		1枚		ト
323	福西善五郎書簡	福西善五郎	島内登志衛	6月3日	宅地を担保にした借金の件	墨書	葉書		1枚		ト
324	福西善五郎書簡	福西善五郎	島内登志衛	6月7日	借金の担保にする刀剣の時価	墨書	葉書		1枚		ト
325	福西善五郎書簡	福西善五郎	島内登志衛	6月8日	麻布坂下町・一本松の地所の件	墨書	葉書		1枚		ト
326	福西善五郎書簡	福西善五郎	島内登志衛	6月11日	本銀町・亀井戸・刀の件	墨書	葉書		1枚		ト
327	福西善五郎書簡	福西善五郎	島内登志衛	6月15日	保険会社・銀行についての情報確認	墨書	葉書		1枚		ト
328	福西善五郎書簡	福西善五郎	島内登志衛	6月26日	大阪からの返報なければご照会下されたい	墨書	葉書		1枚		ト
329	福西善五郎書簡	福西善五郎	島内登志衛	6月27日	登記簿抄書証明書手配依頼	墨書	葉書		1枚		ト
330	福西善五郎書簡	福西善五郎	島内登志衛	6月28日	保険会社売物の件	墨書	葉書		1枚		ト
331	福西善五郎書簡	福西善五郎	島内登志衛	6月28日	生麦海面埋立地を担保にした借金の件	墨書	葉書		1枚		ト
332	福西善五郎書簡	福西善五郎	島内登志衛	6月30日	保険会社営業報告書の件、地所購入の件	墨書	葉書		1枚		ト

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
333	福西善五郎書簡	福西善五郎	島内登志衛	7月1日	地所購入の件	墨書	葉書		1枚		ト
334	福西善五郎書簡	福西善五郎	島内登志衛	7月2日	地所購入の件	墨書	葉書		1枚		ト
335	福西善五郎書簡	福西善五郎	島内登志衛		千住の件延引の理由	墨書	葉書		1枚		ト
336	福村一甫書簡	福村一甫	黒潮社	大正7年2月20日	『大正名人録』送付依頼	ペン	葉書		1通		ア,a
337	藤田孝基書簡	藤田孝基	島内丑	大正12年3月10日	田岡氏が遺本売却に尽力してくださるらしいので持参しては如何	ペン	葉書		1通		セ
338	藤本書簡	藤本	島内登志衛	大正11年9月28日	校正刷り送付の件	ペン	星光社罫紙		1通	封筒、1枚	セ
339	藤本武治郎書簡	藤本武治郎	島内登志衛	大正11年10月8日	納品遅延陳謝、今後の校正刷り送付についての提案	ペン	藤本用箋		1通		セ
340	藤本武治郎書簡	藤本武治郎	島内登志衛	大正11年10月11日	初校正刷の一部と再校正刷を送付	ペン	星光社罫紙		1通	封筒、1枚	ヨ
341	北海タイムス合資会社書簡	北海タイムス合資会社	島内登志衛	大正11年9月11日	購読費払い込み依頼	印刷	葉書		1通		セ
342	本多専一郎書簡	本多専一郎	島内登志衛	大正3年5月26日	平岡定太郎の権太における失政のメモ送付、転居通知	墨書			1通	封筒、1枚	メ
343	本多専一郎書簡	本多天耕(本多専一郎)	島内登志衛	大正4年12月18日	訪問に先立つご都合伺い	墨書			1通	封筒、1枚	エ
344	前田下学書簡	前田下学	島内登志衛	大正5年12月16日	借金の抵当に取られた五輪書の請戻しについて	墨書			1通	封筒、1枚	サ
345	前田庸■書簡	前田庸■	黒潮社	大正12年4月18日	『書画売買の手引』20冊落手	ペン	葉書		1通		セ
346	牧野法律事務所書簡	牧野法律事務所	島内丑	大正12年4月28日	馬場又吉よりの債権関係で相談したく30日に来訪乞う	墨書	葉書		1通		セ
347	牧野法律事務所書簡	牧野法律事務所	島内丑	大正12年5月7日	馬場氏との件は和解を勧める、10日までに返答願う	墨書			1通	封筒、1枚	セ
348	町田旦龍書簡	町田旦龍	島内登志衛	大正2年7月23日	弔詞礼状	印刷、墨書			1通	封筒、1枚	エ
349	松井広吉書簡	松井広吉	島内登志衛	大正元年10月17日	京坂行の件は19日か20日の出発で差し支えない	墨書			1通	封筒、1枚	シ
350	松田清書簡	松田清	島内登志衛	大正6年2月7日	今日橋田でお話の遊説について費用明細書回送願う	墨書			1通	封筒、1枚	シ
351	松村寛蔵書簡	松村寛蔵	島内登志衛	明治45年6月24日	お申越しの戸梶氏一件は全く知らず、戸梶氏とは面識もなし	墨書			1通	封筒、1枚	モ
352	松山忠二郎書簡	松山忠二郎	島内登志衛	大正2年5月25日	村山社長からの伝言内容報知	ペン	東京朝日新聞原稿用紙		1通	封筒、1枚	シ
353	三品書簡	三品	島内登志衛	2月5日	叙文ご採用大慶、字句修正の指示	墨書			1通		シ
354	三品書簡	三品	島内登志衛	9月26日	原稿執筆方針変更には対応する、静岡以下3県分は他の人に依頼されたし	墨書			1通	封筒、1枚	シ
355	三品長三郎書簡	三品長三郎	島内登志衛	大正2年12月13日	近況報告、出版ものに硬軟取り混ぜては如何	墨書			1通	封筒、1枚	シ
356	三品長三郎書簡	三品長三郎	島内登志衛	大正2年5月2日	多忙のため原稿確認の切を延期してほしい	墨書			1通	(1)封筒、1枚 / (2)ひも、1点	エ

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
357	三品長三郎書簡	三品長三郎	島内登志衛	大正3年11月12日	勤務多忙、多少金銭の融通を願う、校正の件	墨書			1通	封筒、1枚	エ
358	水上政治書簡	水上政治	島内登志衛	大正8年8月14日	林木払下げ願書回付の件、国有林年払下の件	墨書			1通	(1)国有林略図、1枚 / (2)封筒、1枚	フ,a
359	水上政治書簡	水上政治	島内登志衛	大正8年8月16日	御料支局へご足労願う、国有林払下げ願本人の件	墨書			1通	封筒、1枚	フ,a
360	三津たよ書簡	三津たよ	島内丑	大正12年4月4日	無事出産のお知らせ	墨書	葉書		1通		セ
361	宮地巖夫書簡	宮地巖夫	島内登志衛	大正6年3月17日	『大和民族の犠牲的人格』恵贈感謝、道書の目録送付	墨書			1通	(1)道書目録、1枚 / (2)封筒、1枚	サ
362	村上清書簡	村上清	島内登志衛	明治45年5月26日	総選挙後局面展開なきは遺憾、『谷干城遺稿』落掌、谷干城・伊藤博文・細川潤次郎の筆跡入手したし、仙石氏の失敗残念、岡田栄は小生の親友	墨書			1通	封筒、1枚	モ
363	村上清書簡	村上清	島内登志衛	大正4年7月4日	朝鮮での就職につき保証はできないが履歴書は預かる	墨書			1通	封筒、1枚	ホ
364	村上つる書簡	村上つる	島内丑	大正12年3月12日	一月に帰国したが来月頃又渡鮮するやも、光子の写真送付	墨書			1通	封筒、1枚	セ
365	村上正豊書簡	村上正豊	島内登志衛	大正4年3月8日	著書送付感謝、高知県の選挙情勢について	墨書			1通	封筒、1枚	タ
366	村上正豊書簡	村上正豊	島内登志衛	大正4年4月7日	森新太郎氏贈位に向けた動きについて	墨書			1通	封筒、1枚	ホ
367	村上正豊書簡	村上正豊	島内登志衛	大正4年5月23日	吉本氏切望の岩崎家下別邸・王子製紙場相観につき尽力依頼	墨書			1通	封筒、1枚	ホ
368	村正順一郎書簡	村正順一郎	島内登志衛	大正元年8月15日	平岡長官よりのお金を銀行為替で送付するので受け取ったらご一報願う	墨書			1通	封筒、1枚	シ
369	村山■書簡	村山■	島内登志衛	明治45年6月25日	送金遅れは俸の不身持ではなく全く自分の貧乏のため、久保氏に関する忠告は義道氏に伝えた	墨書			1通	封筒、1枚	モ
370	守治良助書簡	守治良助	島内丑	大正12年3月30日	昨日の礼	墨書			1通	封筒、1枚	セ
371	本山白雲書簡	本山白雲	島内登志衛	大正2年12月18日	土陽美術会への御同情・御示教感謝、著書贈呈感謝	墨書			1通	封筒、1枚	エ
372	安場末喜書簡	安場末喜	松平頼平	大正5年10月4日	宮本武蔵の書を細川に売却する件	墨書			1通	封筒、1枚	エ
373	山岸書簡	山岸	島内登志衛	7月7日	昨日は主人不在失礼、お預かりの品は思召とは懸け離れる	ペン	葉書		1通		セ
374	山岸壯一書簡	山岸壯一	島内	大正11年5月23日	かねてご承知の件で今月中に来訪願う	ペン	葉書		1通		セ

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
375	山岸壮一書簡	山岸壮一	島内	大正11年6月27日	かねて御約束の件につき今月中に取極め願う	墨書	葉書		1通		セ
376	山岸壮一書簡	山岸壮一	島内登志衛	大正12年3月13日	昨日ご光来の件はお断り申し上げる	ペン	葉書		1通		セ
377	山崎信樹書簡	山崎信樹	島内登志衛	明治45年6月9日	参考のため『谷干城遺稿』の印刷経費を教えてほしい	墨書			1通	封筒、1枚	モ
378	山崎信樹書簡	山崎信樹	島内登志衛	大正11年6月17日	森氏との交渉の件	印刷、ペン	葉書		1通		ソ
379	山崎信樹書簡	山崎信樹	島内登志衛	大正11年4月8日	中野家屋の現状	墨書			1通	封筒、1枚	ソ,a,1
380	山崎信樹書簡	山崎信樹	島内登志衛	大正11年4月14日	地所は到底売らず	印刷、墨書	葉書		1通		ソ,a
381	山崎信樹書簡	山崎信樹	島内登志衛	大正11年4月15日	学資援助を淡中氏に頼むにあたっての方針確認	墨書			1通	封筒、1枚	ソ,a
382	山崎信樹書簡	山崎信樹	島内登志衛	大正11年5月12日	課長との面会では要領を得なかったが見込み無しではない	印刷、墨書	葉書		1通	ひも、1点	ソ,a
383	山崎信樹書簡	山崎信樹	島内登志衛	大正11年6月13日	明日は葬儀のため違約するかもしれない	ペン	葉書		1通		ソ,a
384	山崎信樹書簡	山崎信樹	島内登志衛	大正11年7月11日	ゑびすの件はあてにせぬよう	墨書、朱墨書	葉書		1通	封筒(「大正五年山崎、大平関係」と記される)、1枚	ソ
385	山崎信樹書簡	山崎信樹	島内登志衛	4月4日	中野家屋の間取り図は請求中につき追って送付する	墨書	葉書		1通		ソ,a,1
386	山崎信樹書簡	山崎信樹	島内登志衛	4月12日	中野家屋売却の件につき	墨書			1通	封筒、1枚	ソ,a
387	山崎信樹書簡	山崎信樹	島内登志衛	6月18日	森氏と土地を見に行った件報告	墨書	葉書		1通		ソ
388	山崎信樹書簡	山崎信樹	島内登志衛	6月21日	エビスの土地売値の件	ペン	葉書		1通		ソ
389	山崎信樹書簡	山崎信樹	島内登志衛	6月23日	ゑびすの件経過報告	ペン	葉書		1通		ソ
390	山崎信樹書簡	山崎信樹	島内登志衛	6月25日	土地売買交渉の報告	ペン	葉書		1通		ソ
391	山崎書簡	山崎	島内登志衛	4月21日	子供の養子先につき小樽三菱出張所の谷内主任が有望	墨書			1通	封筒、1枚	ソ
392	山田直矢書簡	山田直矢	島内登志衛	2月2日	ご依頼の件はお断り、書類図面返却	墨書			1通	封筒、1枚	エ
393	山本寿衛書簡	山本寿衛	島内登志衛	大正4年6月23日	現在種々都合あるため今しばらく後に詳しく話をしたい	墨書			1通	封筒、1枚	ホ
394	山本忠秀書簡	山本忠秀	島内登志衛	大正5年10月3日	歯根への治療により快方に向かっている	墨書			1通	封筒、1枚	エ
395	山本忠秀書簡	山本忠秀	島内登志衛	大正8年9月27日	高知県の選挙戦の様子	墨書			1通	封筒、1枚	レ
396	山本鉄男書簡	山本鉄男	黒潮社	大正7年2月20日	書籍販売にあたっての詳細を報知願う	ペン	葉書		1通		ア,a
397	山本成之書簡	山本成之	島内丑	大正12年4月4日	博文館に明朝見本を持参してもらいたい	墨書	葉書		1通		セ

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
398	山本成之書簡	山本成之	島内志剛・丑	3月7日	金釘の方は要領を得ず催促中、武市の令嬢は独身主義、御著書は博文館に委託販売なら引き受ける	墨書	葉書		1通		セ
399	山本成之書簡	山本成之	島内丑	2日	博文館内山氏に電話、百将伝は一時取戻し	ペン	葉書		1通		セ
400	吉川義慊書簡	吉川義慊	島内登志衛	大正5年8月23日	ご令息の病状について	墨書			1通	封筒、1枚	ミ
401	吉川義慊書簡	吉川義慊	島内登志衛	大正5年9月2日	志剛の病状について	墨書			1通	封筒、1枚	エ
402	吉川義慊書簡	吉川義慊	島内登志衛	大正5年9月7日	志剛の病状は回復傾向	墨書			1通	封筒、1枚	エ
403	吉川義慊書簡	吉川義慊	島内登志衛	大正5年10月30日	ご入院の由心痛、ご静養あられたし	墨書			1通	封筒、1枚	エ
404	吉本銘次郎書簡	吉本銘次郎	島内登志衛	大正4年5月27日	小生感冒のため厚意にこたえられず申し訳ない	墨書			1通	封筒、1枚	ホ
405	和田潤書簡	和田潤	島内登志衛	大正7年2月19日	沖縄県内務部長拝任のあいさつ、平岡手形の件	印刷、墨書			1通	封筒、1枚	サ
406	和田潤書簡	和田潤	島内登志衛	大正7年6月28日	近況報告	墨書			1枚		
407	和田潤書簡	和田潤	島内登志衛	9月14日	平岡氏への返済催促の件	墨書	罫紙		1通	封筒、1枚	
島内登志衛発信書簡											
408	[久保義道宛書簡写し]					墨書	罫紙		1綴		
409	[書簡下書き]					墨書	罫紙		1枚		
410	島内登志衛書簡	島内登志衛	大田原發次郎	大正8年12月7日	谷家との対立の件、過日相談の件は如何か	墨書		控え	1通	封筒、1枚	チ
411	島内登志衛書簡	島内登志衛	坂本和吉	大正11年8月15日		墨書		封筒のみ	1枚		セ
412	島内登志衛書簡	島内登志衛	福西					封筒のみ	1枚		ト
413	[島内登志衛書簡控]	島内登志衛		大正7年2月19日～大正7年7月14日		ペン	複写葉書帳		1冊		き
414	[島内登志衛書簡控]	島内登志衛		大正7年2月19日～大正7年9月1日		ペン	複写葉書帳		1冊		き
415	[島内登志衛書簡控]	島内登志衛		大正7年9月3日～大正7年9月18日		ペン	複写葉書帳		1冊		き
416	[島内登志衛書簡控]	島内登志衛		大正7年9月19日～大正8年1月31日		ペン	複写葉書帳		1冊		き
417	[島内登志衛書簡控]	島内登志衛		大正7年10月12日		ペン	複写便箋	断簡	1綴		
418	[島内登志衛書簡控]	島内登志衛		大正7年10月15日～大正8年7月22日		ペン	複写便箋		1綴		
419	[島内登志衛書簡控]	島内登志衛		大正8年8月1日～大正8年9月18日		ペン	複写便箋		1冊		
420	[島内登志衛書簡控]	島内登志衛		大正8年9月18日～大正8年10月26日		ペン	複写便箋		1冊		
421	[島内登志衛書簡控]	島内登志衛		大正8年10月27日～大正8年12月13日		ペン	複写便箋		1冊		

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
422	〔島内登志衛書簡控〕	島内登志衛		大正8年12月24日 ～大正9年4月4日		ペン	複写便箋		1冊		
423	〔島内登志衛書簡控〕	島内登志衛		大正9年4月4日～ 大正9年8月24日		ペン	複写便箋		1冊		
424	〔島内登志衛書簡控〕	島内登志衛		大正9年8月25日～ 大正10年11月4日		ペン	複写便箋		1冊		
425	絵はがき（奈良春日群鹿）							書きかけ	1枚		セ
家族・親族発書簡											
426	池田源信書簡	池田源信	島内丑	大正12年4月25日	志朗殿病気いかが、当地(平壤)もようやく一陽来復	ペン	葉書		1通		セ
427	池田勝信書簡	池田勝信	島内御一同	大正2年2月20日	醤油・味噌に何か混ぜているか、功勞碑の件、大石氏が大官になれば登志衛氏は知事くらい	墨書			1通	封筒、1枚	ン
428	池田勝信書簡	池田勝信	島内登志衛	大正2年5月1日	見舞状	墨書			1通	封筒、1枚	シ
429	池田勝信書簡	池田勝信	島内登志衛	大正2年5月28日	藍綬褒章受章のための活動依頼	墨書			1通	封筒、1枚	シ
430	池田勝信書簡	池田勝信	島内御一同	大正2年11月18日	頌徳碑建碑の件、あて者の件	墨書			1通		サ
431	池田勝信書簡	池田勝信	島内登志衛	大正4年6月5日	大庭家の嫁に君子をやるのはどうか	墨書			1通	(1)封筒、1枚 / (2)ひも、1点	ヒ
432	池田勝信書簡	池田勝信	島内登志衛	大正4年6月29日	君子の縁談について、孝文の話したことほか	墨書			1通	封筒、1枚	ヒ
433	池田武義書簡	池田武義	島内登志衛	大正2年5月4日	人形恵贈感謝、小演習開始前に上京予定	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	シ
434	池田武義書簡	池田武義	島内登志衛	大正3年5月25日	父に対する歓待感謝	墨書			1通	封筒、1枚	メ
435	池田武義書簡	池田武義	島内登志衛	大正3年11月10日	『大和民族の犠牲的人格』に期待、行動予定	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	シ
436	池田武義書簡	池田武義	島内登志衛	大正4年1月18日	近況報告、『誤字類語集』送付願	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	エ
437	池田武義書簡	池田武義	島内登志衛	大正4年3月22日	『大和民族の犠牲的人格』送付感謝	墨書			1通	封筒、1枚	タ
438	池田武義書簡	池田武義	島内登志衛	大正5年4月16日	現在送金する持ち合わせがなし、4～5日後の佐世保入港で多少手に入るやも	墨書			1通	封筒、1枚	エ
439	池田武義書簡	池田武義	島内登志衛	大正5年7月6日	縁談については相手の雄吉君が健康ならば異議なし	墨書			1通	(1)〔池田登志子書簡〕、1通 / (2)封筒、1枚 / (3)ひも、1点	ミ
440	池田武義書簡	池田武義	島内登志衛	大正5年7月31日	君子の結婚めでたし、結婚式には登志子抜きで小生一人で出席したい	墨書			1通	封筒、1枚	ミ
441	池田武義書簡	池田武義	島内登志衛	大正5年8月9日	君子挙式には列席したいが仕事柄予定確定し難し	墨書			1通	封筒、1枚	ミ

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
442	池田武義書簡	池田武義	島内登志衛	大正5年8月15日	君子挙式が9月13日との旨承知、予定決定次第知らせる、明日は日ごろの鍛錬を試験される	墨書			1通	(1)島内丑宛池田武義書簡、1通 / (2)封筒、1枚	ミ
443	池田武義書簡	池田武義	島内登志衛・志剛	大正6年7月7日	7月2日付で佐世保鎮守府附に補せらる、9月には地中海に廻航予定	墨書			1通	(1)封筒、1枚 / (2)ひも、1点	サ
444	池田武義書簡	池田武義	島内登志衛	大正6年8月10日	野老山の娘との関係、現在の自分の任務	墨書			1通	封筒、1枚	
445	島内丑書簡	島内丑	馬場又吉	大正10年12月27日	主人病気につき収入なし、議会在済んで友人たちが今後の方策を立ててくれるまで返済猶予願う	墨書	罫紙	控	1通	(1)〔馬場又吉からの借金に関するメモ〕、1枚 / (2)名刺(布施法律事務所小梨文哉)、1枚 / (3)封筒、1枚 / (4)ひも、1点	セ,a
446	池田武義書簡	池田武義	島内登志衛	大正10年7月24日	暑中見舞い	ペン			1枚		
447	大庭孝文書簡	大庭孝文	島内登志衛	大正4年6月26日	三島村の御令弟からは確答を得ず	墨書			1通	(1)封筒、1枚 / (2)ひも、1点	ホ
448	大庭孝文書簡	大庭孝文	島内登志衛	大正7年3月13日	洋服を仕立てたら貴家に出向き事業の手伝いをする	墨書			1通	封筒、1枚	ア,a
449	大庭理又書簡	大庭理又	島内登志衛	大正10年2月21日	見舞状	墨書			1通	封筒、1枚	へ
450	島内義茂書簡	島内義茂	島内登志衛	大正10年8月2日	病状見舞い	ペン			1枚		
451	島内幸子書簡	島内幸子	島内丑	大正12年3月13日	ハンケチ・腰帯を送る	ペン	葉書		1通		セ
452	島内幸子書簡	島内幸子	島内丑	大正12年3月19日	昨日の礼	ペン	葉書		1通		セ
453	島内幸子書簡	島内幸子	島内丑	大正12年3月28日	明日帰京するので上野駅に迎えに来てほしい	ペン	葉書		1通		セ
454	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正2年7月16日	熊本での本の販売運動は不調、次は阿蘇を目指す	鉛筆			1通	封筒、1枚	エ
455	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正3年7月16日	近況報告、登志衛見舞い	ペン	罫紙		1通	(1)君子・幸子宛書簡、1通 / (2)志武三宛書簡、1通 / (3)封筒、1枚	エ
456	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正5年5月30日	無事入隊完了、大隊長らの名前	墨書			1通	封筒、1枚	エ
457	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正5年6月4日	書籍未着、連隊の雰囲気	墨書			1通	封筒、1枚	エ
458	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正5年7月1日	入院中の状況、親類へ通知の要否如何	墨書	罫紙		1通	封筒、1枚	エ
459	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正5年7月4日	病状は快方へ、転地療養に向かう	墨書	罫紙		1通	封筒、1枚	エ
460	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正5年7月12日	淡路島岩屋の衛戍病院分院への入院前後の近況	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	ミ
461	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正5年7月18日	病状報告、志朗渡米についての新藤の意見	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	ミ

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
462	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正5年7月27日	小遣銭欠乏、院長と方々に釣りに行っている	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	ミ
463	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正5年8月4日	奈良帰隊時よりだいぶ回復し退院も近い、双眼鏡は11月までは使用していても良いが取り扱いに注意	墨書			1通	封筒、1枚	ミ
464	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正5年8月11日	お手紙のお陰で岩屋に18日送りられることになった、志朗渡米についての意見	墨書			1通	封筒、1枚	ミ
465	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正5年8月19日	岩屋の分院から奈良衛戍病院に戻った、胃の異常、奈良の病院長は吉川儀慊氏に代わった	墨書			1通	封筒、1枚	ミ
466	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正5年8月22日	自分の病気は腹膜炎らしい、君子の縁談めでたし	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	ミ
467	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正5年8月25日	腹膜炎の診断下る、家庭の余裕により自宅療養か転地療養かのどちらかに決めたい	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	ミ
468	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年2月26日	父上のご尽力により渡満の可能性が出てきた	墨書			1通	封筒、1枚	シ
469	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年3月4日	渡満の件命令はまだだが荒川が変わってくれたので内定	ペン	罫紙		1通	(1)封筒、1枚 / (2)ビニール袋、1枚	セ
470	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年3月5日	荒川の義侠に甘え代わりに渡満するほかなし	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	
471	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年3月14日	渡満決定までの連隊の意思決定経緯、渡満時に必要なもの	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	シ
472	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年3月25日	荷物準備のため帰京はやめた、正帽入れなど送付願う	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	セ
473	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年3月26日	29日にハルピン停車場司令として先発する命下る、荷物の送付について	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	
474	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年3月28日	30日にハルピンに向け奈良を出立予定	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	
475	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年3月30日	出発直前の準備で松村ご母堂に世話になる	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	セ
476	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年4月7日	ハルピンの兵営は防寒設備はあるも寝具などは不十分、寝具・橋など送付願う	ペン	葉書		1通		セ
477	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年4月9日	ハルピンの気候、小布団送付願う	ペン	葉書		1通		セ

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
478	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年4月13日	過日真夜中に銃声ありて戦闘準備するも何事もなし、露国へ帰化した朝鮮人の兵による発砲とのこと	ペン	葉書		1通		セ
479	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年4月13日	荷物未着、軍事郵便と朱書しない方が早く届く	ペン	葉書		1通		セ
480	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年4月17日	勤務状況について、志朗・志武三への補助はどれほど	ペン	封緘葉書		1通		セ
481	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年4月20日	当方への小包は関税徴収されず、いつの間にか松花江の氷も緩む、食事が肉攻めには参る	ペン	封緘葉書		1通		セ
482	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年4月23日	18日の新聞到着、大阪毎日があれば十分	ペン	葉書		1通		セ
483	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年4月24日	教育の終わった新兵と凱旋部隊でハルピン駅は混雑、松花江の様子	ペン	封緘葉書		1通		セ
484	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年4月28日	勤務にも慣れてきた、少々多忙でも勲章がもらえるならよし	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	セ
485	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年5月4日	当地も日中は暖かくなった、停車場は活気ありて面白し	ペン	軍用列車車票		1通	封筒、1枚	セ
486	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年5月9日	小生へ送る物は今里士官候補生に托されたし、源信叔父の活動場所	ペン	葉書		1通		セ
487	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年5月10日	刀の下げ革・ちり紙など今里候補生に預けてほしい、ルーブルの下落について	ペン	葉書	其二	1通		セ
488	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年5月14日	一昨日の松花江での投網の成果	ペン	葉書		1通		セ
489	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年5月17日	ハルピンの商工業について未だ語る材料なし、当地で商売上気をつけるべき点、戦友近況	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	セ
490	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年5月17日	必要なものは今里に託してほしい	ペン	葉書		1通		セ
491	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年5月17日	和服は着られないのでドテラ一つで十分	ペン	葉書		1通		セ
492	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年5月25日	金15円送付通知	ペン、墨書	罫紙		1通	封筒、1枚	セ
493	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	〔大正8年〕5月30日	27日より流行性感冒のため臥床、自宅払いの金額について	ペン	封緘葉書		1通		セ

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
494	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年6月3日	軽い流行性感冒のため一週間休み、中隊復帰後は暇を見て釣に行く所存	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	セ
495	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年6月4日	小松君肺炎カタルのため帰国入院の予定	ペン	軍用電報頼信紙		1通	封筒、1枚	セ
496	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年6月19日	停車場勤務の引き継ぎなどで多忙だが健康なのでご心配なく	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	セ
497	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年6月21日	旅順に服地がないため外套は東京に注文、別に15円送金のつもり	ペン	罫紙		1通	(1)露国税関重要輸入税率表、1枚 /(2)封筒、2枚	コ
498	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年6月26日	軍務多忙、本月より自宅払いを45円25銭とする	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	コ
499	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年7月18日	外国語学校修学旅行に同行してチタに行くことになった	ペン	葉書		1通		コ
500	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年7月23日	チタ市行の様子	ペン	封緘葉書		1通		コ
501	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年7月31日	寛城子での戦死者について、東清鉄道大同盟罷業について	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	コ
502	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年8月1日	金10円送付	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	コ
503	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年8月2日	寛城子事件の余波による異動のため中隊中に将校少なし	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	コ
504	島内志剛書簡	島内志剛	島内志朗	大正8年8月13日	『在郷軍人心得』送付依頼	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	コ
505	島内志剛書簡	島内志剛	島内志朗	大正8年8月13日	東清鉄道大同盟罷業、大倉書店へ注文した本の件、投網の件	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	コ
506	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年8月25日	金30円送付	墨書	罫紙		1通	封筒、1枚	コ
507	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年9月6日	コレラ流行のため隔離せられた	墨書			1通	封筒、1枚	コ
508	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年9月7日	大阪毎日新聞の件、大倉書店の件	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	コ
509	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年9月8日	昨日から大阪毎日新聞到着、コレラ終息	ペン	葉書		1通		コ
510	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年9月12日	初年兵教育のための帰国者にはならず済んだ	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	コ
511	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年9月19日	送付希望品目	ペン	日本基督教青年会罫紙	前欠	1通	封筒、1枚	コ
512	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年9月19日	連隊着任以来の死亡者・故障者について	ペン	日本基督教青年会罫紙	後欠	1通	封筒、1枚	コ
513	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年9月28日	日貨排斥など当地での対日態度	ペン	日本基督教青年会罫紙		1通	封筒、1枚	コ
514	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年10月5日	近況報告、奈良の藤本の妹チユの黒松に住所を教えた	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	コ
515	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年10月18日	連隊は来年正月にも南満に移動の由	墨書			1通	封筒、1枚	コ

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
516	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年10月19日	野外演習の様子	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	コ
517	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年10月28日	諸検閲終了、明日は支那将校を呼び宴会、調査分担当	ペン	日本基督教青年会罫紙		1通	封筒、1枚	コ
518	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年11月9日	近況報告、過激派の噂	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	コ
519	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年11月18日	留守隊付として中少尉三名帰る筈だが自分は残れる見込み、士官候補生梁瀬健吾を数日止宿させてやってほしい	ペン	罫紙		1通	(1)島内幸子宛書簡、1通 / (2)封筒、1枚	コ
520	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年11月21日	満洲に残留することになり幸運	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	コ
521	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年12月2日	米国の新藤君からの手紙の件で相談	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	コ
522	島内志剛書簡	島内志剛	島内君子	大正8年12月2日	送ってもらった絵はがき等の件	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	コ
523	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年12月22日	近況報告、寒さのエピソード	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	コ
524	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正8年12月29日	本日ブハトに移動	鉛筆	陸軍罫紙		1通	封筒、1枚	コ
525	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正9年1月16日	部隊展開の状況、ブハトの様子	ペン	罫紙		1通	(1)注文書、1枚 / (2)封筒、1枚	コ
526	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正9年1月16日	セミヨノフ軍援助の狙いについての観測	ペン	罫紙	前欠	1通	封筒、1枚	コ
527	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正9年1月23日	片山からの礼状の件、勤務状況について	ペン	陸軍罫紙		1通	(1)片山大尉書簡、1通 / (2)封筒、1枚	コ
528	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正9年2月5日	ブハト付近の気候について、勤務状況について	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	コ
529	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正9年2月5日	小包未着、正木先生に催促願う	ペン	葉書		1通		コ
530	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正9年3月19日	東清鉄道沿線は過激派の赤旗翻る状況	鉛筆	葉書		1通		コ
531	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正9年4月3日	支那軍による過激派掃討	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	コ
532	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正9年4月27日	(第一信)中尉への昇進漏れの件、荒川の病状	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	コ
533	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正9年4月27日	(第二信)中尉への昇進漏れは理由あるはず、木下先生への依頼は見合わせてほしい	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	コ
534	島内志剛書簡	島内志剛	島内志朗	大正9年5月1日	本日から一週間はパスハ(復活祭)、近況報告	ペン	絵葉書		1通	(1)原稿用紙、1枚 / (2)封筒、1枚	セ
535	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	[大正9年] 5月6日	自宅払いは55円とした、自宅払い受取の印鑑について	ペン	罫紙		1通	封筒、2枚	セ
536	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正9年6月3日	ブハトの様子、支那軍の勢力扶植状況	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	コ

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
537	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正9年6月23日	哈爾濱・海拉爾間の道路偵察の予定	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	コ
538	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正9年7月6日	道路偵察中の見聞	鉛筆	封緘葉書		1通		コ
539	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正9年7月25日	16日に中尉昇進、8月下旬にハ爾濱へ引揚予定	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	コ
540	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正9年8月25日	29日朝にハ爾濱へ引揚	墨書			1通	(1)大興安嶺山頂附近ノ風光、1枚 ／(2)封筒、1枚	コ
541	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正9年9月2日	ハ爾濱安着、兵卒露語必携編纂への賞詞、10月に内地帰還の可能性	鉛筆			1通	封筒、1枚	コ
542	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正9年9月7日	本月より自宅払いを55円とする、安岡少尉と同じ兵舎になった	ペン	陸軍罫紙		1通	封筒、1枚	コ
543	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正9年9月25日	留守宅払いが55円になるのは来月から、当地近況、荒川には赤十字病院への転院を勧める	ペン	陸軍罫紙		1通	封筒、1枚	セ
544	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正9年10月9日	本月二十日頃初年兵教育のため内地帰還と決す	ペン	陸軍罫紙		1通	封筒、1枚	セ
545	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正9年10月14日	初年兵教育のため帰還の予定なりしも昨夜不逞鮮人討伐に赴くこととなった	鉛筆			1通	封筒、1枚	セ
546	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	〔大正9年〕10月18日	14日にハルピンを出発し今は海林駅で後命を待っている	ペン	封緘葉書		1通		セ
547	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	〔大正9年〕11月1日	不逞鮮人はもろく我々は二週間海林駅で貨車生活、自宅払いは中隊で手続きが止まっていたが55円に増やす	墨書			1通	封筒、1枚	セ
548	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	〔大正9年〕11月20日	数日前から東支線南方の山奥で討伐、坂本中尉はきつと大学に通る	ペン	罫紙		1通	(1)鮮人家屋図、1枚 ／(2)封筒、1枚	セ
549	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正9年12月1日	不逞鮮人討伐は一段落	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	セ
550	島内志剛書簡	島内志剛	島内志朗	〔大正9年〕12月11日	鮮人討伐時のこと、来年四月の連隊凱旋後も自分は当地で露語研究のつもり	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	セ
551	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正10年2月7日	大病をしないための心構え、いま北満ではペスト流行	ペン	罫紙		1通	(1)島内幸子宛書簡、1通 ／(2)飯田鎗治郎紹介状、1枚 ／(3)封筒、1枚	セ

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
552	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	大正10年3月25日	父上自筆の手紙受け取り安心	ペン	罫紙		1通	(1)払出通知表、3枚 / (2)封筒、1枚	セ
553	島内志剛書簡	島内志剛	島内志朗	大正10年4月1日	小生の当地残留は未だ許可なし、一先ず連隊と奈良凱旋するか	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	セ
554	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	5月2日	荷物受け取る、来月より自宅払い30円とし私からの直接送付10円としたい	ペン	封緘葉書		1通		セ
555	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	5月17日	帝都三大祝典絵葉書受取、郵便物への関税について	ペン	葉書		1通		セ
556	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	9月15日	プレーボク露文法受取	ペン	葉書		1通		コ
557	島内志剛書簡	島内志剛	島内登志衛	12月16日	君子の肋膜は初耳で驚いた、見舞金送金、坂本・田辺が陸大入学きまる	ペン	罫紙		1通	封筒、1枚	セ
558	島内志剛電報	島内志剛	島内登志衛	大正8年3月	29日出発	カーボン			1通		シ
559	〔島内志剛書簡草稿〕	〔島内志剛〕	〔宛先不明〕		金融通感謝、おかげさまで無事復職	墨書	罫紙		1通		
560	島内志朗書簡	島内志朗	島内登志衛	大正7年9月10日	熊本での下宿さがしの件	墨書			1通	(1)島内丑宛島内志朗書簡、1通 / (2)封筒、1枚	キ
561	島内志朗書簡	島内志朗	島内登志衛	大正7年10月17日	近況報告	ペン			1枚		
562	島内志朗書簡	島内志朗	島内登志衛	17日	判読できず	ペン			1枚		
563	島内武馬書簡	島内武馬	島内登志衛	大正10年2月	見舞状	墨書	葉書		1通		へ
564	恒石駒寿書簡	恒石駒寿	島内丑	大正12年3月9日	近況伺い	墨書			1通	封筒、1枚	セ
565	恒石駒寿書簡	恒石駒寿	島内丑	6日	親族の近況	墨書		封筒には「4月27日」とあり、前欠	1通	封筒、1枚	セ
566	恒石張達書簡	恒石張達	島内登志衛・丑	大正4年6月8日	隆恵縁付きの件通知	墨書			1通	(1)恒石駒寿書簡、1通 / (2)封筒、1枚	ホ
567	恒石鬮朗書簡	恒石鬮朗	島内丑	大正12年3月4日	末長く御懇情願う	墨書			1通	封筒、1枚	セ

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
書類の部											
自著原稿・資料											
【1.『谷干城遺稿』編纂関係】 →142、408も見よ											
568	包紙(「谷將軍講演集」と記載あり)					墨書			1枚	水引、1点	イ
569	「谷將軍講演集目次」原稿					墨書	靖献社原稿用紙		2枚		イ
570	「谷將軍講演集例言・目次」原稿					墨書	靖献社原稿用紙		1綴		イ
571	『谷干城遺稿』卷十一第一編第一					印刷			1綴		イ
572	『谷干城遺稿』卷十一第一編第二					印刷			1綴		イ
573	『谷干城遺稿』卷十一第一編第七					印刷			1綴		イ
574	『谷干城遺稿』卷十一第一編第十一					印刷			1綴		イ
575	『谷干城遺稿』卷十一第一編第十二					印刷			1綴		イ
576	『谷干城遺稿』卷十一第一編第十三					印刷			1綴		イ
577	『谷干城遺稿』卷十一第一編第十四					印刷			1綴		イ
578	『谷干城遺稿』卷十一第一編第十八					印刷			1綴		イ
579	『谷干城遺稿』卷十一第一編第十九					印刷			1綴		イ
580	『谷干城遺稿』卷十一第一編第二十					印刷			1綴		イ
581	〔原稿一綴〕				「支那政変論」「清国事変の将来」「帝国財政の現状」「売買地価課税に就て」「二年兵役に就て」「此財政の膨大を奈何」「東京市政刷新の急」の各原稿	墨書	罫紙		1綴	ひも、1点	イ,a
582	「青年の修養」原稿					墨書	罫紙		1綴		イ,a
583	「青年の修養」原稿					ペン	靖献社原稿用紙		1綴		イ,a
584	「君子小人の別」原稿					墨書	罫紙		1綴		イ
585	「文中子を読む」原稿					墨書	罫紙		1綴		イ
586	「一国の基礎」原稿					墨書	靖献社原稿用紙		1綴		イ
587	「感時花濺涙」原稿					墨書	靖献社原稿用紙		1綴		イ
588	「菜根を咬み得ば百事做すべし」原稿					墨書	靖献社原稿用紙		1綴		イ

島内登志衛関係文書目録

請求 番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注 記
589	「生之者衆食之者寡為 之者疾用之舒則財恒足 矣」原稿					墨書	罨紙		1綴		イ
590	「農業の国家經濟に及 ぼす影響」原稿					墨書	罨紙		1綴		イ
591	「農業国本論」原稿					墨書	罨紙		1綴		イ
592	「孝道的女權拡張」原 稿					墨書	罨紙		1綴		イ
593	「論語の首章に就て」 原稿					墨書	罨紙		1綴		イ
594	「伝書鳩の使用法」原 稿					墨書	靖猷社原稿 用紙		1綴		イ
595	「財政の救済」原稿					墨書	罨紙		1綴		イ
596	「塩谷安井藤森諸先生 文会の場合」原稿					墨書	罨紙		1綴		イ
597	「俗謡の話」原稿					墨書	罨紙		1綴		イ
598	「前途遼遠の勅語を服 膺せよ」原稿					墨書	罨紙		1綴		イ
599	「憲法二十年祭に就 て」原稿					墨書	罨紙		1綴		イ
600	「辞世の詩歌」原稿					墨書	罨紙		1綴		イ
601	「蚕業發達の根本的障 碍」原稿					墨書	罨紙		1綴		イ
602	「死生之境」原稿					墨書	罨紙		1綴		イ
603	「土道」原稿					墨書	罨紙		1綴		イ
604	「青年の修養」原稿					墨書	靖猷社原稿 用紙		1綴		イ
605	「徳川史編纂の注意」 原稿					墨書	罨紙		1綴		イ
606	第三 鉄道買収案及拡 張案は深く勘考すべし					墨書	罨紙		1綴		
607	第四 製鉄所設置案に 付					墨書	罨紙		1綴		
608	第五 言論集会に關す 諸条例の改正意見					墨書	罨紙		1綴		
609	第六 小澤中将免官ニ 付上奏案					墨書	罨紙		1綴		
610	第七 千島移民保護に 關する建議					墨書	罨紙		1綴		
611	第八 新聞紙条例改正 案に就て					墨書	罨紙		1綴		
612	第九 蚕病予防法案に 就て					墨書	罨紙		1綴		
613	第十 陸軍の拡張を非 とす					墨書	罨紙		1綴		
614	第十一 非軍備拡張上 奏案					墨書	罨紙		1綴		

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
615	第十二 学政建議案に関する演説					墨書	罫紙		1綴		
616	第十三 急激なる財政膨張の非					墨書	罫紙		1綴		
617	第十四 増税反対論					墨書	罫紙		1綴		
618	第三十二 海関税に関する建議案理由書					墨書	罫紙		1綴		
619	〔第十二編詩文 目次〕					墨書	罫紙		1綴		ワ
620	第十二編第一章 史論 拾七篇					墨書	罫紙		1綴		ワ
621	第十二編第二章 書 六篇					墨書	罫紙		1綴		ワ
622	第十二編第三章 送序 拾三篇					墨書	罫紙		1綴		ワ
623	第十二編第四章 記事 拾壹篇					墨書	罫紙		1綴		ワ
624	第十二編第五章 記事 及紀行文 十三篇					墨書	罫紙		1綴		ワ
625	第十二編第六章 序文 及跋 十六篇					墨書	罫紙		1綴		ワ
626	第十二編第七章 説、題、伝 七篇					墨書	罫紙		1綴		ワ
627	第十二編第八章 祭文 式篇					墨書	罫紙		1綴		ワ
628	第十二編第九章 墓碑 拾三篇					墨書	罫紙		1綴		ワ
629	三卷三編附録第一 ス タイン博士に対する質問要領					墨書、朱墨書	罫紙		1綴		
630	第三卷三編附録第二 グナリスト					墨書、朱墨書	罫紙		1綴		
631	『谷干城遺稿』チラシ	靖献社				印刷			同文2枚		
632	『東京朝日新聞』第 9271号	東京朝日新聞社		明治45年5月24日	『谷干城遺稿』書評掲載	印刷		3~6面のみ	1枚	封筒(「干城遺稿批評」と朱書あり)、1枚	
633	〔招魂祭関係書簡(写) 綴〕					墨書	罫紙		1綴		
634	池辺吉太郎書簡(写)	池辺吉太郎	谷干城	1月18日	図書恵与感謝	墨書	罫紙	「池辺吉太郎氏より隈山先生宛の書簡」と記された付箋あり	1枚		
635	伊藤博文書簡(写)	伊藤博文	谷干城	5月17日	建白書草稿回覧	墨書	罫紙	「ロ第七十八号」と記された付箋あり	1枚		
636	伊藤博文書簡(写)	伊藤博文	谷干城	12月1日	渡欧時の随行員の件	墨書	罫紙	「ロ第四十四号」と記された付箋あり	1枚		

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
637	大隈重信・西郷隆盛書簡(写)	大隈重信・西郷隆盛	谷干城	4月5日	台湾出発前に集会いたし度	墨書	罫紙	「明治七年台湾行送別会」と記された付箋あり	1枚		
638	金子堅太郎書簡(写)	金子堅太郎	谷干城	3月10日	先日の御意見書にはみな賛成	墨書	罫紙	「ち第二号 昌号」と記された付箋あり	1枚		
639	樺山資紀書簡(写)	樺山資紀	谷干城	2月7日	児玉少佐分課替・小川少佐転課・大隊長人選の件	墨書	罫紙		1枚		
640	樺山資紀書簡(写)	樺山資紀	谷干城	8月12日	平佐大尉よりの電報到着通知	墨書	罫紙		1枚		
641	陸実書簡(写)	陸実	谷干城	1月11日	予算論掲載の件、昨年御恵賜の刀の件	墨書	罫紙	「ち第壹号 昌号」と記された付箋あり	1綴		
642	陸実書簡(写)	陸実	谷干城	10月7日	法典施行取調委員への不満	墨書	罫紙	「ち第四号 昌号」と記された付箋あり	1綴		
643	陸実書簡(写)	陸実	谷干城	12月26日	貴族院での演説に際してのご参考	墨書	罫紙	「陸実氏書状」と記された付箋あり	1綴		
644	黒田清隆書簡(写)	黒田清隆	谷干城	7月16日	御秘録落掌の件	墨書	罫紙	「黒田清隆の手紙」と記された付箋あり	1枚		
645	小熊六郎書簡(写)	小熊六郎	谷干城	明治14年5月25日	辞職翻意を促す	墨書	罫紙	「明治14年谷將軍辞職を惜むの書」と記された付箋あり	1綴		
646	四条隆謨書簡(写)	四条隆謨	谷干城	明治6年11月4日	熊本鎮台へ差返すべき旨の達し書お届け	墨書	罫紙	「明治六年十一月上京呼戻し」と記された付箋あり	1枚		
647	末広重恭書簡(写)	末広重恭	谷干城	6月28日	合田愿氏に面会願う	墨書	罫紙	「ち第九号 昌号」と記された付箋あり	1枚		
648	谷景井書簡(写)	谷景井	谷干城	[万延元年] 5月4日		墨書	罫紙	「万延元年五月四日父君の御書状余入塾中」と記された付箋あり	1綴		ル
649	谷干城書簡(写)	谷干城	谷景井	[安政4年] 10月27日		墨書	罫紙	「安政四年帰国之途難風之状」と記された付箋あり	1綴		ル
650	谷干城書簡(写)	谷干城	谷景井	[慶応3年] 2月6日		墨書	罫紙	「慶応三年二月六日上海ヨリ長崎へ帰候時好便ニ托シ無事ヲ齎スル書」と記された付箋あり	1綴		ル
651	谷干城書簡(写)	谷干城	佐々木高行	7月18日	今日山田も来て最後の談判、明後日聖上に拝謁願う	墨書	罫紙		1枚		
652	谷干城書簡(写)	谷干城	佐々木高行	7月31日	於菟丸様同道の旅行の件	墨書	罫紙		1綴		

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
653	谷干城書簡(写)	谷干城	片岡謙吉・山田平左衛門	9月4日	尾崎彦四郎来県時の宴席招待	墨書	罨紙	「片岡・山田ニ送ル案内書」と記された付箋あり	1綴		
654	谷干城書簡(写)	谷干城	佐々木高行	12月13日	片岡直温の今後について、秋山仕官の件	墨書	罨紙		1綴		
655	〔佐々木高行宛書簡(写)綴〕	谷干城	佐々木高行			墨書	罨紙		1綴		
656	〔谷干城演説・書簡など(写)綴〕					墨書	罨紙	「貴の十四号 籠城会演説」と記された付箋あり	1綴		
657	〔書簡下書き(写)〕				石田英吉の高知県知事就任に際し配慮を望む	墨書	罨紙	「高知県知事ニ石田転任之時之書」と記された付箋あり	1綴		
658	丹九郎(写)	丹九郎	谷干城	〔文久2年〕12月23日		墨書	罨紙	「文久二年在京中丹九郎氏より守部へ遣せる」と記された付箋あり	1綴		ル
659	丹進好道書簡(写)	丹進好道	谷景井・谷干城	10月27日		墨書	罨紙	「安政四年頃容堂様御勉強之御様子窺ふに足る書なり」と記された付箋あり	1綴		ル
660	中村弘毅書簡(写)	中村弘毅	佐々木高行・北村重頼	6月23日	御地の情勢平穏とのこと尽力に感謝、小生ただいまより下坂	墨書	罨紙		1綴		
661	原田対馬ほか書簡(写)	原田対馬(会津藩)	土州御藩御重役中	〔慶応4年〕9月2日	降伏交渉の使者につき	墨書	罨紙	「会津藩より来書の写」と記された付箋あり	1綴		
662	弘田正郎書簡(写)	弘田正郎	谷干城	3月2日	拝借したお金の抵当について	墨書	罨紙	「ち第三号 昌号」と記された付箋あり	1綴		
663	弘田正郎書簡(写)	弘田正郎	谷干城	5月19日	小野道一の委員としての滞京費用の件	墨書	罨紙	「富ノヘノ十三」と記された付箋あり	1綴		
664	弘田正郎書簡(写)	弘田正郎	谷干城	12月27日	新聞社の事調査中	墨書	罨紙	「ち第五号 昌号」と記された付箋あり	1綴		
665	堀江芳介書簡(写)	堀江芳介	谷干城	5月21日	別紙函についての説明	墨書	罨紙		1綴		
666	松岡七助書簡(写)	松岡七助	谷干城	〔安政7年〕2月4日		墨書	罨紙	「安政七年安井先生へ送りし書の事に付松岡(七助)の忠告なり」と記された付箋あり	1綴		ル

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
667	松方正義書簡(写)	松方正義	谷干城	1月30日	水害費取調書の送付通知	墨書	罫紙	「松方正義の手紙二十三度調査後」と記された付箋あり	1枚		
668	元田永孚書簡(写)	元田永孚	谷干城	6月30日	午後の訪問を通知	墨書	罫紙	「永孚氏の手紙」と記された付箋あり	1綴		
669	安井息軒書簡(写)	安井息軒	谷干城	4月29日	隈山楼記草稿完成につき	墨書	罫紙	「隈山楼記の手紙安井」と記された付箋あり	1枚		
670	〔安井息軒書簡(写)綴〕	安井息軒	谷干城			墨書	罫紙		1綴		カ
671	山川浩書簡(写)	山川浩	谷干城	明治11年1月14日	木村正徳推挙	墨書	罫紙		1枚		
672	勝好書簡(写)	勝好	谷干城	10月25日	藤本駿馬後任を吉田数馬とする件の発表について	墨書	罫紙	「明治十五年頃海南校改革」と記された付箋あり	1綴		
673	行雄書簡(写)	行雄	谷干城	29日	斎藤種五郎氏に面会願う	墨書	罫紙	「ち第十号 昌号」と記された付箋あり	1枚		
674	〔谷干城宛書簡(写)綴〕				渡辺国武・近衛篤磨・樺山資紀からの書簡	墨書	罫紙		1綴		
675	〔書簡断簡〕				家屋恩借の件、兄勇奉職の頭	墨書	罫紙		1綴		
676	〔書簡(写)綴〕				国沢諒吉・谷重徳	墨書	罫紙		1綴		
677	〔諸書簡写〕					墨書	罫紙		1綴		
678	書簡不用の分					墨書	罫紙		1綴		
679	ひも								1点		ワ
680	詩草					墨書	罫紙		1綴		ワ
681	〔沼間守一への弔辞〕	谷干城				墨書	罫紙	「沼間君の死を痛む」と記された付箋あり	1綴		ワ
682	読墨子					墨書	罫紙		1枚		ワ
683	晚翠蘆記					墨書	罫紙		1綴		ワ
684	陸軍歩兵大佐従五位勲四等中村君重遠碑					墨書	罫紙		1綴		ワ
685	〔卒業式式辞〕	谷干城		明治13年12月24日		墨書	罫紙	「貴号との四 兵学校卒業式の辞(十三年)」と記された付箋あり	1綴		ワ
686	〔親睦会会員に向けた声明〕	谷干城		明治15年5月11日		墨書	罫紙	「貴の十五号 親睦会諸君ニ告クル書」と記された付箋あり	1綴		ワ
687	〔『新土佐新聞』刊行祝辞〕	谷干城				墨書	罫紙	「新土佐の発刊を祝す」と記された付箋あり	1綴		ワ
688	〔坂本彦右衛門行状〕					墨書	罫紙		1枚		ワ

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
689	子房論					墨書	罫紙		1綴		ワ
690	〔詩文綴〕					墨書	罫紙		1綴		ワ
691	読保健大記					墨書	罫紙		1枚		ワ
692	大嶋岬神社記					墨書	罫紙		1綴		ワ
693	十年 祭文					墨書	罫紙		1綴		ワ
694	谷干城奉答	谷干城		明治16年6月5日		墨書	罫紙	「貴号との一 斯文学会長有栖川宮の教令に答へ奉るの辞」と記された付箋あり	1綴		ワ
695	手函の塵					墨書	罫紙		1綴		ワ
696	熊本鎮台戦闘日誌引	谷干城		明治15年2月		カーボン	鎮西館用紙		1綴		ワ
697	採用見合 詩					墨書、朱墨書	罫紙		1綴		ワ
698	願書	谷干城	山県有朋			墨書	罫紙	「呈山県公書」と記された付箋あり	1綴		ワ
699	明治廿七年総選挙の際選挙民に与ふる書					墨書	罫紙		1綴		ワ
700	華族女学校開校の式辞	谷干城		明治18年11月13日		墨書	罫紙		1綴		ワ
701	谷氏系図			明治44年6月		印刷			1枚		ワ
702	高知毎日新聞の発刊を祝す					墨書	罫紙		1綴		ワ
703	『大阪朝日新聞』記事切抜				谷干城に関する記事	印刷			2枚	封筒、1枚	ワ
704	正二位子爵谷君墓誌銘	松本豊多				印刷			同文5枚		ワ
705	山地将軍小伝					墨書	罫紙	「神号」と記された付箋あり	1綴		ワ
706	原稿用紙					墨書	罫紙	「不要」と記されている	1枚		ワ
707	封筒							「維新当時の往復書」と記載あり	1枚		ル
708	文久二壬戌正月上元登城の始末書					墨書	罫紙	「此書は当時の記録を将軍が謄写せしものならん」と記された付箋あり	1綴		ル
709	〔攘夷先鋒につき諮問〕					墨書	罫紙	「此の書は姉小路公より御渡しの様覚ゆ」と記された付箋あり	1枚		ル
710	〔8月18日政変関係資料〕					墨書	罫紙	「元治反覆の論旨と唱ふるもの」と記された付箋あり	1綴		ル
711	〔山内容堂建白書〕					墨書	罫紙	「元治頃の勅書」と記された付箋あり	1綴		ル

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
712	〔佐幕派諸侯献言〕					墨書	罫紙	「慶応三年政権奉還ニ付佐幕派諸侯の献言」と記された付箋あり	1綴		ル
713	樋口真吉日記			明治34年6月26日	文久2年6月28日～文久3年4月12日	墨書	罫紙	写	1綴		
714	付箋					朱墨書		「二巻二ノ上・附録 此日記皆上へツメルベシ」と記される	1枚		
715	第二 十年戦闘日誌				明治10年鹿児島賊徒征討従軍中のこと	墨書	罫紙		1綴		
716	辛嶋市長宛答書	谷干城	辛嶋格	3月15日	西南戦争記念集会招待への礼	墨書	第五高等学校試験用紙		1枚		
717	谷子追悼会に於ける由比文学士の講話					墨書	罫紙	明治44年5月21日在熊本土佐会谷子追悼会場にて	1綴		
718	〔三条大橋橋詰の制札取り捨てるの件に付き報告〕	山脇右作	久野熊弥 太・岡本竹 二郎・栗屋 大之助・濱 田清蔵・羽 方左門・土 居虎五郎	9月16日		墨書	罫紙	「京都札破り一件」と記された付箋あり	1綴		
719	〔井上毅意見書〕	井上毅	大久保利 通・川村純 義			墨書	罫紙	写	1綴		
720	谷將軍逸事					墨書	罫紙		1綴		
721	万延二酉年三月四日夜於井口村永福寺前非常届書					墨書	罫紙	「益永繁斎刃傷ノ件」と記された付箋あり	1綴		
722	〔桜田門外の変関係届書〕					墨書	罫紙	「桜田一件」と記された付箋あり	1綴		
723	異聞写し					墨書	罫紙	「桜田一件」と記された付箋あり	1綴		
724	井伊一条上杉人より聞書大略					墨書	罫紙	「桜田一件」と記された付箋あり	1綴		
725	〔本田越中守家来先生宛書簡写〕					墨書	罫紙	「桜田一件」と記された付箋あり	1綴		
726	此度伊井侯被殺候子細					墨書	罫紙	「桜田一件」と記された付箋あり	1綴		
727	〔江州よりの音信風説〕					墨書	罫紙	「彦根探索書史料」と記された付箋あり	1綴		

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
728	第一課 暗中の明珠					墨書	罨紙	「暗中の明珠 谷 將軍欧州巡遊の帰 途」と記された付 箋あり	1綴		
729	〔小澤武雄免官の際の やり取りメモ〕					墨書	罨紙	「二十四年 小沢 男爵免官ニ付同男 と秘書官トノ問 合」と記された付 箋あり	1綴		
730	將軍の手紙				曾我祐準宛書簡綴	墨書	罨紙		1綴		
731	〔谷丹三郎上京願一 件〕					墨書	罨紙		1綴		
732	〔記事訂正依頼〕					墨書	罨紙	「スタイン博士と 將軍干係日本新聞 へ正誤文」と記さ れた付箋あり	1綴		
733	〔凱旋奉祝会につき賛 同を乞う〕			6月12日		墨書	罨紙	「二十八年戦勝祝 賀会開催に付ての 照会状なり」と記 された付箋あり	1綴		
734	明治四十年二月一代華 族に関する谷・板垣両 氏の論戦					墨書	罨紙		1綴		
735	第三 林勝好に贈るの 書					墨書	罨紙		1綴		
736	包紙					朱墨書		「十二年後往復書」 と記される	1枚		
737	包紙								1枚		
738	施政の方針に関する建 議案説明演説					墨書	罨紙		1綴		
739	〔度量衡問題に関する 演説草稿〕					墨書	罨紙	「貴号と第七 度 量衡廃案意見 議 会ニテ演説の草 案」と記された付 箋あり	1枚		
740	学政振張に関する建議 案					墨書	罨紙		1綴		
741	〔演説梗概メモ〕					墨書	罨紙	「以下不要也可 除」と書き込みあ り	1綴		
742	民力休養論演説草稿(不 用なり)					墨書	罨紙		1綴		
743	〔内閣諸公への意見 書〕					墨書	罨紙		1綴		

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
744	戦死遺族恩給令改正請願	谷干城	三条実美・有栖川熾仁・岩倉具視	明治14年3月13日		墨書	罫紙		1綴		
745	第一期議会 関税建議案及演説					墨書	罫紙		1綴		
746	鉄道広軌意見					墨書	罫紙		1綴		
747	包紙					墨書		「議会」と記される	1枚		
748	封筒					朱墨書		「六年より十一年迄の往復書」と記される	1枚		
749	授章通知	三条実美	谷干城			墨書	罫紙		1枚		
750	〔谷干城出張通知雛型案〕					墨書	罫紙	「地方官に対し司令官就任披露」と記された付箋あり	1枚		
751	〔軍務関係書類綴〕					墨書	罫紙		1綴		
752	山県有朋達書	山県有朋	熊本鎮台佐官中	〔明治6年〕10月28日	谷少将への達書送付の件	墨書	罫紙	「明治六年西郷等辞職ニ付途中引返之命令」と記された付箋あり	1枚		
753	明治六年頃西郷大輔よりの書	西郷隆盛	谷干城	12月25日	来る28日出艦の筈	墨書	罫紙		1枚		
754	〔明治十年公文綴〕					墨書	罫紙		1綴		
755	封筒					墨書		「スタイン・グナイスト見聞略記」と記される	1枚		
756	ひも								1点		ヲ
757	浪人者懷中所持の斬奸趣意書				元堀織部正家来三島三郎兵衛秀金の斬奸状	墨書	罫紙		1綴		ヲ
758	見聞雑記					墨書	罫紙		1綴		ヲ
759	見聞略記				長防市民嘆願書、新聞書取写ほか	墨書	罫紙		1綴		ヲ
760	見聞略記				長尾喜代蔵返答書ほか	墨書	罫紙	「長防征伐当時之文書」と記された付箋あり	1綴		ヲ
761	見聞略記				上野田吉三郎願書ほか	墨書	罫紙	「長防征伐当時長藩ニ係ル件」と記された付箋あり	1綴		ヲ
762	若江氏息女建言					墨書	罫紙		1綴		ヲ
763	見聞略記				大洲藩武田亀五郎から借用して書き写したもの	墨書	罫紙	「長防征戦ノ当時の文書」と記された付箋あり	1綴		ヲ
764	包紙								1枚		
765	包紙					墨書		「詩文」と記されている	1枚		

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
766	包紙					墨書		「詮議の為残し置分」と記されている	1枚		カ
767	〔租税率・日英同盟に関する意見〕					墨書	罨紙		1綴		カ
768	〔旅順返還意見〕					墨書	罨紙	「起稿年月詮議之事」と記された付箋あり	1枚		カ
769	〔日清戦争の戦後処理に関する意見〕					墨書	罨紙	「後藤象次郎名ヲ以テ戦勝後政府へ出セル書類」と記された付箋あり	1綴		カ
770	男爵家の相続争				尾崎忠治死去後の相続に関する訴訟	墨書	罨紙		1綴		カ
771	二十七年干渉事件始末・条約改正ニ付大隈外相の宣言					墨書	罨紙	「将軍ノ手ニ成りしものにあらず、将軍が参考として写さしめしものならん」と書き込みあり	1綴		カ
772	〔税賦課・学術に関する意見〕					墨書	罨紙		1綴		カ
773	元禄十六年土佐国にて発行の紙幣の銘老泉雑記より抄出す					墨書	罨紙		1綴		カ
774	〔両替相場メモ〕					墨書	罨紙		1綴		カ
775	覚				子爵山内家神奈川沿岸埋め立ての件	墨書	罨紙	「山内子爵家埋立地」と記された付箋あり	1綴		カ
776	〔韓国統治の方針について〕			明治42年1月20日		墨書、 謄写			1綴		
777	質問の主眼				外交方針について	墨書			1枚	ひも、1点	ン
778	心の妙				心の持ち方の現実への影響	墨書			1枚		ン
779	外交質問				ロシアの態度に対する対応について	墨書		「明治三十四五年頃分」と記載あり	1枚		ン
780	初門者ニ対スル講話					墨書			1枚		ン
781	十日				今後の課題は財政整理・国防充実・外交刷新	墨書			1枚		ン
782	英語の必要					墨書			1枚		ン
783	決議文演説				昨年の計画を破壊したことで政府を批判	墨書		「第二次西園寺内閣即ち明治四十四五年頃か」と記載あり	1枚		ン

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
784	卒業生の理想抱負は如何				知識の社会での活用について	墨書		「明治三十七年ヨリ同四十年迄の間ならん 何れの学校に於てなしたるやを知らず」と記載あり	1枚		ン
785	軍人慰問の辞					墨書		「明治三十八年」と記載あり、標題のみ	1枚		ン
786	教育の方針				教育者の役割について	墨書		「明治三十七八年の交か」と記載あり	1枚		ン
787	禪				禪の世界の効用	墨書			1枚		ン
788	七栗ニテ				世界情勢について、ほか	墨書			1枚		ン
789	[虫損]大要				陸海軍拡張と財政、日英同盟の効果、ほか	墨書		「[虫損]会にての質問演説草稿」と記載あり	1枚		ン
790	要領				行財政整理の必要	墨書		「明治四十年頃の議会か」と記載あり	1枚		ン
791	封鎖の日本				世界情勢の中の日本の位置について	墨書		「明治三十年頃か」と記載あり	1枚		ン
792	[質問趣旨書]				中立違反問題、対韓問題、ほか	墨書		「明治三十八年議会ニ於ル質問趣旨書」と記載あり	1枚		ン
793	政界の近情					墨書			1枚	「ほそん」と記された付箋、1枚	ン
794	時宗郷(ママ)祭典				北条時宗顕彰	墨書		「明治三十七年頃か又は四十年か四十一年か」と記載あり	1枚		ン
795	海軍拡張案に対する吾党の方針					墨書		「明治四十年か四十二年頃か」と記載あり	1枚		ン
796	対清事業著手の順序					墨書			1枚		ン
797	[演説原稿]				清国の擾乱について、財政問題、ほか	墨書		「大正元年か二年か」と記載あり	1枚		ン
798	対外競争				列国との競争に勝算を立てざるべからず	墨書		「明治三十二年北清事変以前ならんか」と記載あり	1枚		ン
799	[演説原稿]				福建省の件、日英同盟、ほか	墨書		「明治三十三年頃か」と記載あり	1枚		ン
800	[政府攻撃演説草稿]					墨書		「日露戦後政府攻撃演説草稿」と記載あり	1枚		ン

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
801	地租案					墨書		「日露戦後のものならん」と記載あり	1枚		ン
802	〔演説原稿〕				精神面の傾向	墨書			1枚		ン
803	〔演説原稿〕				三大責任、日英同盟について	墨書			1枚		ン
804	新帝国の教育					墨書			1枚	「明治三十七年錦輝館にて」と記された付箋、1枚	ン
805	世界に対する我帝国					墨書			1枚	「明治三十三四年頃か」と記された付箋、1枚	ン
806	国債整理基金法案					墨書			1枚		ン
807	〔演説原稿〕				制度調査委員会、清国の擾乱	墨書		「山本内閣の時か」と記載あり	1枚		ン
808	外交内政に関する質問					墨書		「明治三十三年か」と記載あり	1枚		ン
809	〔質問演説趣旨〕				公債募集に関して、軍事費に関して	墨書		「明治四十三年頃、予算総会ニテノ質問演説趣旨」と記載あり	1枚		ン
810	ひも								1点		ン,a
811	〔感謝状原稿〕				日露戦時の満州軍に対する区会感謝状	墨書			1枚		ン,a
812	帝国の責任				商工業の現在および将来	墨書			1枚		ン,a
813	〔演説原稿〕				韓国に対する新協約両顧問の件、満洲門戸開放の件、ほか	墨書		「明治三十七年冬憲政本党大会に於ての演説草稿ならんか」と記載あり	1枚		ン,a
814	対清				対清方針、韓国について	墨書		「日露戦争中」と記載あり	1枚		ン
815	清国開発案					墨書			1枚		ン
816	戦時税継続					墨書		「明治三十八年か九年(ママ)ノ議会に於ける演説草稿か又は同年頃憲政本党大会に於てなるべし」と記載あり	1枚		ン
817	真正の愛国家				弔辞カ	墨書			1枚		ン
818	清国事変に関する質問					墨書			1枚		ン
819	〔演説原稿〕				尾崎氏推薦、帝国の四大責任、ほか	墨書		「明治三十五年三重県に於ての演説草稿」と記載あり	1枚	封筒(「最後の案」と記載あり)、1枚	ン
820	包紙					朱墨書		「上書建白意見書」と記載あり	1枚		え

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
821	「風俗礼儀に関する意見」					墨書	罫紙		1綴		え
822	「廢刀断髪につき異論者を諭す主旨にて認					墨書	罫紙		1綴		え
823	「山地將軍逸事」					墨書	罫紙	付箋あり	1綴		え
824	「桑港暴動に就きて」					墨書	罫紙	付箋あり	1綴		え
825	「貴（と第9号）予算返却ニ付尾崎との問答」					墨書	罫紙		1綴		え
826	「谷干城の明治6年転任に際して送別の和歌」					墨書	罫紙		1枚		え
827	「雑記俗謡」					墨書	罫紙	付箋あり	1綴		え
828	「板垣退助借用金ノ件」					墨書	罫紙	付箋あり	1綴		え
829	「斑竹山房同盟人名書上げ」					墨書	罫紙		1綴		え
830	「泉州堺事件」					墨書	罫紙		1綴		え
831	「海南中学校」					墨書	罫紙		1綴		え
832	「遼陽戦前の戦局観」					墨書	罫紙		1綴		え
833	「真の勝利は垓下の一戦にあり」					墨書	罫紙		1綴		え
834	「自負心より来る戦争恐るべし」					墨書	罫紙		1綴		え
835	「米国大西洋艦隊廻航に関する意見」					墨書	罫紙		1綴		え
836	「彦太郎暗殺に就て」					墨書	罫紙		1綴		え
837	「児島高德の事蹟に關し鱒生の妄を駁す」					墨書	罫紙		1綴		え
838	「西川吉輔旧功具申書・阪井少将勲功申立					墨書	罫紙		1綴		え
839	「山内家本支両家家祿分配に関する意見」					墨書	罫紙		1綴		え
840	「明治二年断金隊結成上申」					墨書	罫紙		1綴		え
841	「隈山先生意見書」					墨書	罫紙		1綴		え
842	「時勢ニ付取扱始末書」					墨書	罫紙	付箋あり	1綴		え
843	「兵学校生徒に与ふるの書（草案）明治十					墨書	罫紙	付箋あり	1綴		え
844	「議長交際費」					墨書	罫紙	付箋あり	1綴		え
845	「華族議員歳費全廃意見草稿」					墨書	罫紙		1綴		え
846	「維新前窪川ノ事ニ付意見」					墨書	罫紙	付箋あり	1綴		え
847	「庚午九月軍用儲蓄ニ付意見」					墨書	罫紙	付箋あり	1綴		え
848	「明治七年三月（六日か）史官に上ル書」					墨書	罫紙	付箋あり	1綴		え

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
849	「明治八年二月辞表」					墨書	罫紙	付箋あり	1綴		え
850	「軍刀改革ニ関スル件」					墨書	罫紙	付箋あり	1綴		え
851	「南部に事端を起さる様注意」					墨書	罫紙		1綴		え
852	「松山、高松、丸亀へ口上書」					墨書	罫紙	付箋あり	1綴		え
853	「英国議員リード招待ニ付陛下ノ臨幸を■クノ不可ヲ論ず」					墨書	罫紙	付箋あり	1綴		え
854	「御上京見合の建白」					墨書	罫紙	付箋あり	1綴		え
855	谷干城君ヨリ明治二十年七月内閣エ提出スル意見書ノ写					墨書			1冊		
856	穀物関税ニ関スル意見	農務省		明治12年11月		謄写		「秘密書類として明治四十三年五月十七日農務局長下岡忠治氏より贈らる」と朱書あり	1冊		
【2.『大正名人録』編纂関係】											
857	封筒					墨書		「各種名簿」と記載あり	1枚		ラ
858	日本漆工会会員録			明治44年8月		印刷			1冊		ラ
859	東京彫工会会員役員人名録			明治45年5月		印刷			1冊		ラ
860	日本金工協会会員役員名簿			大正3年5月		印刷			1冊		ラ
861	日本美術協会役員会員名簿			大正4年6月		印刷			1冊		ラ
862	帝国学士院一覽			大正4年11月		印刷			1冊		ラ
863	東京医会会員名簿			大正5年12月31日		印刷			1冊		ラ
864	本因坊家世系及免許録	本因坊秀哉		大正5年12月		印刷、墨書		墨書にて追記あり	1冊		ラ
865	東京石工組合組合員人名簿			大正6年1月		印刷			1冊		ラ
866	囲棋段級人名録	方円社		大正6年1月		印刷			1冊		ラ
867	東京鑄金会人名録			大正6年2月		印刷			1冊		ラ
868	演芸電話帳	東京演芸通信社		大正6年4月		印刷			1冊		ラ
869	日本美術協会役員会員名簿			大正6年6月		印刷			1冊		ラ
870	『会報』第18号	大日本武徳会本部		大正6年6月		印刷			1冊		ラ
871	第四回 二科美術展覧会目録			大正6年9月		印刷			1冊		ラ
872	日本美術院 第四回展覧会出品目録			大正6年9月		印刷			1枚		ラ

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
873	『週』附録文展案内			大正6年10月20日		印刷			1枚		ラ
874	本因坊家世系及免許録	本因坊秀哉		大正6年12月		印刷			1冊		ラ
875	囲棋段級人名録	方円社		大正7年1月		印刷			1冊		ラ
876	封筒					墨書		「各種番附」と記載あり	1枚		ム
877	日本将棋高名鑑	関根金次郎		明治42年11月		印刷			1枚		ム
878	当代名士真筆座右銘	実業之日本社		明治43年1月1日		印刷			1枚		キ
879	全国五拾万円以上資産家表	時事新報社		明治44年7月24日		印刷			1枚		ム
880	装剣彫鏤鑿工大鑑	神州刀剣会		大正2年		印刷			1枚		ム
881	改正日本書画評価一覧	石塚猪男蔵		大正3年10月		印刷			1枚		キ
882	大相撲番付			[大正5年1月]		印刷			1枚		ム
883	大相撲番付			[大正5年5月]		印刷			1枚		ム
884	[藤八拳大相撲番付]			大正5年10月		印刷			1枚	(1)第一期番附発表 会計報告、1枚 (2)封筒、1枚	ム
885	将棋名鑑	将棋新報編輯部		大正5年12月		印刷			1枚		ム
886	大日本帝国俳優一覧	三光堂		大正6年1月		印刷			1枚		ム
887	大日本資産家明細一覧表	奈良沢健次郎		大正6年1月		印刷			1枚		ム
888	大日本資産家明細一覧表	奈良沢健次郎		大正6年1月		印刷			1枚		ム
889	東都著名弁護士一覧	時代評論社		大正6年3月		印刷			1枚		ム
890	「第十三回総選挙衆議院議員名鑑」(『大阪毎日新聞』切抜)			大正6年4月24日		印刷			1枚		ム
891	大日本浪花節大見立	杉岡文楽堂		大正6年4月		印刷			1枚		ム
892	大日本俳優大見立	西岡庄造		大正6年5月		印刷			1枚		ム
893	新旧俳優人気鑑	杉岡惣吉		大正6年6月		印刷			1枚		ム
894	[拳技睦会大相撲番付]			大正6年8月		印刷			1枚	封筒、1枚	ム
895	[詠草・漫画・替え歌]					墨書、ペン			3枚		ム
896	[漢詩・漫画]					鉛筆			1枚		ム
897	[陸軍士官学校所感・英文メモ]					墨書			2枚		ム
898	高知県東西投網大番附	弘進堂				印刷			1枚		ム
899	精密撰抜大日本花道名匠一覧	福井善男		明治45年2月		印刷			1枚		
900	『日本弁護士名簿』	石井彦次郎		大正6年8月28日		印刷			1冊		
【3.『頓知物語』編纂関係】											
901	『常識涵養頓知物語』	島内登志衛		大正11年9月		印刷			1冊		
902	[『頓知物語』原稿綴]				「自序」ほか	墨書、ペン	罫紙		1綴		
903	[『頓知物語』原稿綴]				「爾朱敞衣服を換ふ」ほか	墨書、ペン	罫紙		1綴		

島内登志衛関係文書目録

請求 番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注 記
904	〔『頓知物語』原稿 綴〕				「張挙死人の口中を検む」ほか	墨書、 ペン	罫紙		1綴		
905	〔『頓知物語』原稿 綴〕				「彦瑜栗を擲つ」ほか	墨書、 ペン	罫紙		1綴		
906	〔「大石良雄主君に服 薬を…」原稿〕					墨書、 ペン	罫紙		1綴		
907	封筒					墨書		「常識涵養頓知物 語原稿」と記載あり	1点		あ
908	「総轄唾を吐かせて盗 賊を知る」原稿					墨書	罫紙		1綴		あ
909	『頓知物語』原稿見本	島内登志衛				墨書	罫紙		1綴		あ
910	『頓知物語』構成メモ					墨書	罫紙		1綴		あ
911	「パルチザンを驚かし た頓知」（東京朝日新 聞記事切抜）	東京朝日新聞 社		大正11年7月12日		印刷			1枚		あ
912	「明帝追手を欺く」原 稿					墨書	罫紙		1綴		あ
913	〔名将言行録主題別索 引〕					墨書	罫紙		1綴		あ
914	「毛利元就狐を燻す」 原稿					墨書	罫紙		1綴		あ
915	「晏子荊へ使者に行 く」原稿					墨書	罫紙		1綴		あ
916	「鮑叔管仲を欺く」原 稿					墨書	罫紙		1綴		あ
917	「諸葛孔明悪人を見知 る」原稿					墨書	罫紙		1枚		あ
918	「宗典東安王を打つ」 原稿					墨書	罫紙		1枚		あ
919	「曇永王廠が子を打擲 す」原稿					墨書	罫紙		1枚		あ
920	「いざり盗人の事」原 稿					墨書	罫紙		1綴		あ
921	「耳を嘯まれて生命を 助かる」原稿					墨書	罫紙		1綴		あ
922	「力士要石の化粧廻 し」原稿					墨書	罫紙		1綴		あ
923	「主父の下女毒酒をこ ぼす」原稿					墨書	罫紙		1綴		あ
924	「某氏愚を装うて罪を 免る」原稿					墨書	罫紙		1綴		あ
925	「田中宗休水中に倒 る」原稿					墨書	罫紙		1枚		あ
926	「沢庵柳生十兵衛の病 を治す」原稿					墨書	罫紙		1綴		あ
927	「西園寺陶庵公愚論を 拝聴す」原稿					墨書	罫紙		1枚		あ

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
928	「改田屋与右衛門凶を吉となす」原稿					墨書	罫紙		1枚		あ
929	「某俳家幼女を寿く」原稿					墨書	罫紙		1綴		あ
930	「東郷平八郎同胞を救う」原稿					墨書	罫紙		1綴		あ
931	「大岡越前と本門寺の貼札」原稿					墨書	罫紙		1綴		あ
932	「孟陀讓の家僕に結ぶ」原稿					墨書	罫紙		1綴		あ
933	「袁紹枳棘の中に墜つ」原稿					墨書	罫紙		1綴		あ
934	「来島恒喜警官を出し抜く」原稿					墨書	罫紙		1枚		あ
935	「大村益次郎絃歌を止む」原稿					墨書	罫紙		1綴		あ
936	「近衛篤磨と随行員との問答」原稿					墨書	罫紙		1枚		あ
937	「沢庵和尚と徳川家光」原稿					墨書	罫紙		1枚		あ
938	「小使博士に一本参らす」原稿					墨書	罫紙		1綴		あ
939	「野中伝右衛門火葬を廃めしむ」原稿					墨書	罫紙		1枚		あ
940	「細川重賢小使に立つ」原稿					墨書	罫紙		1綴		あ
941	「大岡越前渋紙を剥がしむ」原稿					墨書	罫紙		1枚		あ
942	「松平信綱安藤の秘書を庇う」原稿					墨書	罫紙		1綴		あ
943	「附言」原稿					墨書	罫紙		1枚		あ
944	「頃知物語目次」原稿					墨書	罫紙		1綴		あ
945	ひも								1点		あ,a
946	「土井利勝下戸の酔どれを難ず」原稿					墨書	罫紙	「原稿見本」と朱字あり	1綴		あ,a
947	「高祖項羽に射らる」原稿					墨書	罫紙		1綴		あ,a
948	「楊評事人を殺せし船頭を知る」原稿					墨書	罫紙		1綴		あ,a
949	「張楚金謀書を見抜く」原稿					墨書	罫紙		1綴		あ,a
950	「陳平范増を逼塞せしむ」原稿					墨書	罫紙		1綴		あ,a
951	「蘇秦死して仇を報ず」原稿					墨書	罫紙		1綴		あ,a
952	「錫の月代石の髻」原稿					墨書	罫紙		1綴		あ,a

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
953	「楊武麦盗人を知る」原稿					墨書	罨紙		1枚		あ,a
954	「張昇井戸の中の屍骸を詮議す」原稿					墨書	罨紙		1綴		あ,a
955	「孫寶秤に懸けて員数を知る」原稿					墨書	罨紙		1綴		あ,a
956	「孫臍競馬の賭に勝つ」原稿					墨書	罨紙		1綴		あ,a
957	「諸葛孔明軍門を開き敵を待つ」原稿					墨書	罨紙		1綴		あ,a
958	「隰朋蟻に拠りて水脈を知る」原稿					墨書	罨紙		1枚		あ,a
959	「度尚士卒の財宝を焼く」原稿					墨書	罨紙		1綴		あ,a
960	「李光弼敵の馬を取る」原稿					墨書	罨紙		1枚		あ,a
961	「畢再遇絹の笠を持たす」原稿					墨書	罨紙		1綴		あ,a
962	「張巡敵の大將を認識す」原稿					墨書	罨紙		1綴		あ,a
963	「劉鄩密に引取る」原稿					墨書	罨紙		1枚		あ,a
964	「李広敵を見かけて兵を休ます」原稿					墨書	罨紙		1綴		あ,a
965	「高祖武臣を狗に喩ふ」原稿					墨書	罨紙		1綴		あ,a
966	「陳軫一言にして昭陽を去らしむ」原稿					墨書	罨紙		1綴		あ,a
967	「陳子禽殉死を止む」原稿					墨書	罨紙		1綴		あ,a
968	「韋孝寛偽文を作る」原稿					墨書	罨紙		1枚		あ,a
969	「管仲老馬の智を籍る」原稿					墨書	罨紙		1枚		あ,a
970	「威王恵王と宝を較ぶ」原稿					墨書	罨紙		1綴		あ,a
971	「岩本星崖島内柏堂の病氣を見舞ふ」原稿					墨書	罨紙		1綴		あ,a
972	「武帝刺客の劔の高低を測る」原稿					墨書	罨紙		1枚		あ,a
973	「晏子楚国へ使者に行く」原稿					墨書	罨紙		1綴		あ,a
974	「孟嘗君天命を説く」原稿					墨書	罨紙		1綴		あ,a
975	「一休小供の泣きを止む」原稿					墨書	罨紙		1綴		あ,a
976	「一休兆殿司を凹ます」原稿					墨書	罨紙		1綴		あ,a

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
977	「一休四十雀へ引導を渡す」原稿					墨書	罫紙		1綴		あ,a
978	「一休と一路」原稿					墨書	罫紙		1枚		あ,a
979	「一休蝸川を退場しむ」原稿					墨書	罫紙		1綴		あ,a
980	「一休鯉を料理して食ふ」原稿					墨書	罫紙		1綴		あ,a
981	「一休古狸を問答す」原稿					墨書	罫紙		1綴		あ,a
982	「一休鳩毒を服む」原稿					墨書	罫紙		1綴		あ,a
983	「苺蕪問答」原稿					墨書	罫紙		1綴		あ,a
984	原稿				甚兵衛の仮面、ほか	墨書	罫紙		1綴		
【4.『書画売買の手引』編纂関係】											
985	〔『書画売買の手引』原稿〕				「画絹及書画紙」ほか	墨書	罫紙		1綴		
986	〔『書画売買の手引』原稿〕				「い」～「わ」	墨書	罫紙		1綴		
987	〔『書画売買の手引』原稿〕				「い」～「に」	墨書	罫紙		1綴		
988	〔『書画売買の手引』原稿〕				「ほ」～「と」	墨書	罫紙		1綴		
989	〔『書画売買の手引』原稿〕				「へ」～「と」	墨書	罫紙		1綴		
990	〔『書画売買の手引』原稿〕				「ち」～「お」	墨書	罫紙		1綴		
991	〔『書画売買の手引』原稿〕				「ち」～「よ」	墨書	罫紙		1綴		
992	〔『書画売買の手引』原稿〕				「わ」～「よ」	墨書	罫紙		1綴		
993	〔『書画売買の手引』原稿〕				「か」～「く」	墨書	罫紙		1綴		
994	〔『書画売買の手引』原稿〕				「た」～「の」	墨書	罫紙		1綴		
995	〔『書画売買の手引』原稿〕				「た」～「れ」	墨書	罫紙		1綴		
996	〔『書画売買の手引』原稿〕				「そ」～「の」	墨書	罫紙		1綴		
997	〔『書画売買の手引』原稿〕				「く」～「こ」	墨書	罫紙		1綴		
998	〔『書画売買の手引』原稿〕				「く」～「ま」	墨書	罫紙		1綴		
999	〔『書画売買の手引』原稿〕				「や」～「さ」	墨書	罫紙		1綴		
1000	〔『書画売買の手引』原稿〕				「け」～「こ」	墨書	罫紙		1綴		
1001	〔『書画売買の手引』原稿〕				「え」～「さ」	墨書	罫紙		1綴		

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
1002	〔『書画売買の手引』原稿〕				「え」～「み」	墨書	罫紙		1綴		
1003	〔『書画売買の手引』原稿〕				「き」～「す」	墨書	罫紙		1綴		
1004	〔『書画売買の手引』原稿〕				「き」～「み」	墨書	罫紙		1綴		
1005	〔『書画売買の手引』原稿〕				「し」～「ひ」	墨書	罫紙		1綴		
1006	〔『書画売買の手引』原稿〕				「し」	墨書	罫紙		1綴		
1007	〔『書画売買の手引』原稿〕				「ひ」～「す」	墨書	罫紙		1綴		
1008	〔『書画売買の手引』原稿〕				「も」～「す」	墨書	罫紙		1綴		
【5.その他】											
1009	『明治聖皇』	島内登志衛		大正2年4月1日		印刷			1冊		
1010	『明治聖皇』チラシ	靖献社				印刷			1枚		卅
1011	『明治聖皇』チラシ	靖献社				印刷			同文 16枚		
1012	『大和民族の犠牲的人格』内容見本	靖献社				印刷			同文6冊		
1013	『日本百将伝一夕話』内容見本	靖献社				印刷			同文3枚		
1014	『家庭宝典』内容見本	黒潮社				印刷			同文3冊		
1015	『明治聖皇』『谷干城遺稿』ほか広告	靖献社				印刷			同文11枚		
1016	『悪七兵衛景清』原稿				第1回～9回	墨書	罫紙		1綴		
1017	『悪七兵衛景清』原稿				第10回～18回	墨書	罫紙		1綴		
1018	『悪七兵衛景清』原稿				第19回～25回	墨書	罫紙		1綴		
1019	〔『簡便簡易雑食法』原稿〕				第一章一	墨書	罫紙		1枚		
1020	〔『簡便簡易雑食法』原稿〕				第一章一～十四	墨書	罫紙		1綴		
1021	〔『知恵袋』原稿〕			大正7年8月30日		墨書	罫紙		1綴		
1022	「浪川合戦」原稿					ペン	罫紙		1綴		
1023	「黒岩越前の直諫」原稿					ペン	罫紙		1綴		
1024	「横山源三郎その場で父の讐を討つ」原稿					ペン	罫紙		2枚		
1025	「長宗我部家世継騒動」原稿					ペン	罫紙		1綴		
1026	〔長宗我部系図〕					ペン	罫紙		1枚		
1027	〔長宗我部氏・安芸氏間合戦に関するメモ〕					ペン	罫紙		4枚		
1028	〔「西遊記」原稿〕			大正5年9月2日	第一回	墨書	罫紙		1綴		
1029	〔「西遊記」原稿〕				第一回	墨書	罫紙		1綴		

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
1030	〔「西遊記」原稿〕				第一回	墨書	罫紙		1綴		
1031	〔「西遊記」原稿〕				第二回	墨書	罫紙		1綴		
1032	〔「西遊記」原稿〕				第一回～第四回	墨書	罫紙		1綴		
1033	〔「北部満蒙徒歩横断記」原稿〕	島内士川				ペン	罫紙		1綴		
1034	政界百物語目次					墨書	罫紙		1枚		
1035	余の見し人					墨書	罫紙		1綴		
1036	封筒(「隠れたる英雄材料」と記載あり)								1枚		ハ
1037	〔江田文四郎伝原稿〕					墨書			2枚	封筒、1枚	ハ
1038	封筒(「豊川先生回顧譚草稿」と記載あり)								1枚		ニ
1039	〔メモ〕					墨書			3枚	封筒(「材料控 大石」と記載あり)、1枚	ニ
1040	「吾輩の書生時代」(新聞記事切抜)	豊川良平				印刷			1枚		ニ
1041	「豊川良平氏死去」(新聞記事切抜)					印刷			1枚		ニ
1042	「逝ける豊川氏」(新聞記事切抜)					印刷			1枚		ニ
1043	〔「余の見た人 加藤高明」原稿〕			大正5年6月27日		墨書	靖献社原稿用紙		1綴		ニ
1044	〔メモ〕				大石正巳・犬養毅等人名リストほか	墨書	罫紙		1綴		ニ
1045	〔メモ〕				豊川良平関係カ	墨書	罫紙		1綴		ニ
1046	目次草稿				「後藤新平氏との問答」ほか	ペン	東京朝日新聞原稿用紙		1綴		ニ
1047	「豊川翁の大出来」(新聞記事切抜)					印刷			1枚		ニ
1048	渡辺千秋漢詩					墨書	東京朝日新聞原稿用紙	写	1枚		ニ
1049	余等のクラス	豊川良平[談]		大正5年10月12日		ペン	東京朝日新聞原稿用紙		1綴		ニ
1050	余の汲江英語学校時代	豊川良平[談]		大正2年11月12日		墨書	罫紙		1枚		ニ
1051	『内外珍談集』表紙原版								1点	新聞紙(「珍談狸の図」と記載あり)、1枚	
1052	「姓名判断嘘の皮」	島内登志衛				ペン	罫紙		1綴		
1053	大石良雄山鹿素行を護送す					墨書			1綴		
1054	封筒							「諸大家訪問記草稿」と記載あり	1枚		う
1055	「険吝な大倉喜八郎」					墨書	靖献社原稿用紙		1枚		う

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
1056	「リウマチスの療法」					ペン	東京朝日新聞原稿用紙		1綴		う
1057	「林翁と薩摩芋」					ペン	東京朝日新聞原稿用紙		1綴		う
1058	「光秀と重成」					ペン	東京朝日新聞原稿用紙		1綴		う
1059	「宰相と陰陽」					ペン	東京朝日新聞原稿用紙		1綴		う
1060	包紙（「武道関係書類」と記載あり）					墨書			1枚		お
1061	〔武道叢書書名リスト〕					ペン	東京朝日新聞原稿用紙		1綴		お
1062	〔大戦記念武道全書書名リスト〕					墨書	靖献社原稿用紙		1枚		お
1063	「練陣小鑑」					墨書	罫紙		1綴		お
1064	「上野図書館之分兵書目録」	島内登志衛		大正6年7月		墨書	罫紙	写	1綴		お
1065	〔諸機関所蔵武道関係書リスト〕					ペン	罫紙		1綴		お
1066	〔大戦記念武道叢書経費見積〕					ペン	罫紙		1枚		お
1067	〔大戦記念協会定員数メモ〕					ペン	罫紙		1枚		お
1068	〔名誉賛助員など人名リスト〕					ペン	罫紙		1枚		お
1069	「兵家常談」					墨書	罫紙		1綴		お
1070	「内閣文庫之分兵書目録」	島内登志衛		大正6年7月		墨書	罫紙	写	1綴		お
1071	「南葵文庫之分兵書目録」	島内登志衛		大正6年7月		墨書	罫紙	写	1綴		お
1072	封筒断簡								1点		
1073	「生物学・心理学・社会学...資料」（新聞切抜一括）					印刷			1袋		
1074	「人種問題」（新聞切抜一括）					印刷			1袋		
1075	発刊の趣旨					墨書	靖献社原稿用紙		1綴		
1076	明治二十八年六月以降綱割簿					墨書	罫紙		1綴		
1077	〔書籍名・枚数メモ〕					ペン	罫紙		2枚		
谷子爵家関係											
1078	『大正八年一月以降谷子爵邸売却に付自分関係の顛末』	島内登志衛				カーボン、墨書	罫紙		1綴		
1079	谷子爵邸売却ニ付自分関係ノ顛末	島内登志衛		大正8年11月3日		墨書	罫紙		1綴		

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
1080	袋							「谷儀一関係書類」と記載あり	1枚		チ
1081	〔谷干城遺稿紙型譲渡関係メモ〕			大正8年9月		墨書	罫紙		1枚		チ
1082	ひも								1点		チ,a
1083	〔賃借人名簿〕					ペン	罫紙		1綴		チ,a
1084	〔地坪数メモ〕					墨書	罫紙		1枚		チ,a
1085	名刺	島内登志衛				印刷、鉛筆		裏面に「木内武重」と書き込みあり	1枚		チ,a
1086	〔貸地料・家賃メモ〕					鉛筆			1枚		チ,a
1087	〔市ヶ谷近辺地所概況・略図〕					墨書			4枚		チ,a
1088	〔貸地料メモ〕					墨書	罫紙		1枚		チ,a
1089	〔地代計算メモ〕					墨書	罫紙		1枚		チ,a
1090	〔地積・代金メモ〕					墨書	罫紙		1枚		チ,a
1091	田町邸明細書			大正8年6月		墨書	罫紙		1綴		チ,a
1092	〔貸地契約関係の確認点メモ〕					墨書	罫紙		1綴		チ,a
1093	〔谷邸売却経緯日誌〕			大正8年3月13日～5月19日		墨書	罫紙		1綴		チ,a
1094	谷干城遺稿紙数調					墨書			1枚	(1)紙面坪数計算書、1枚 / (2)封筒(「紙型計算書」と記載あり)、1枚	チ,a
1095	〔市ヶ谷田町土地関係メモ・委任状下書き〕					鉛筆			1枚		チ
1096	〔債権譲渡通知下書き〕	島内登志衛		大正8年		墨書	罫紙		2枚		チ
1097	ひも								1点		チ,b
1098	ひも								1点		チ,c
1099	原弁護士への委任状及契約書控	島内登志衛		大正8年11月4日		印刷、墨書			2枚	封筒、1枚	チ
1100	債権譲渡通知書	弘田直衛	谷儀一	大正9年		ペン、カーボン	内容証明書用紙		3枚	封筒、1枚	チ
1101	郵便物受領証	麴町中六番町郵便局	島内登志衛	大正8年12月20日	谷儀一宛内容証明郵便の受領証	印刷、カーボン			1枚	封筒(「谷儀一二対スル債権譲渡通知書内容及配達証明」と記載あり)、1枚	チ
1102	封筒			大正8年12月				「谷に対する弘田関係書類」と記載あり	1枚		チ,d
1103	債権譲渡証	弘田直衛	中澤勝弥	大正9年		墨書	罫紙		1枚	封筒、1枚	チ,d

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
1104	債権譲渡証	島内登志衛	弘田直衛	大正8年12月20日		カーボン	罫紙		1枚		チ,d
1105	郵便物配達証明書	牛込郵便局	島内登志衛	大正8年12月21日		印刷、ペン			1枚		チ,d
1106	債権譲渡通知書	弘田直衛	谷儀一	大正9年		墨書	罫紙	下書き	1枚		チ,d
紹介状・名刺											
1107	〔島内登志衛紹介状〕	阿部欽次郎	後藤■■			印刷、鉛筆	阿部欽次郎名刺		1枚		か
1108	〔島内登志衛紹介状〕	上野季三郎	南部管理局長官			印刷、墨書	上野季三郎名刺		1枚		か
1109	〔島内登志衛紹介状〕	臼井哲夫(衆議院議員)	安■			印刷、墨書	臼井哲夫名刺		1枚		か
1110	〔島内登志衛紹介状〕	大石正巳	久米民之助、福沢桃介、横山一平、相馬永胤、藤井善助、鈴木寅彦、鈴木梅四郎、早川鎮治			印刷、墨書	大石正巳名刺		8枚	大石正巳名刺、1枚	か
1111	〔島内登志衛紹介状〕	小川顥三郎	秋尾先生、原田先生	7月26日		印刷、墨書	小川顥三郎名刺		2枚		か
1112	〔島内登志衛紹介状〕	川島金五郎	国谷天髑			印刷、ペン	川島金五郎名刺		1枚		か
1113	〔島内登志衛紹介状〕	木下謙次郎	中川(通信局長)、松木幹一郎			印刷、墨書	木下謙次郎名刺		2枚	封筒、1枚	か
1114	〔島内登志衛紹介状〕	桐嶋像一	青木菊雄、高砂屋			印刷、鉛筆	桐嶋像一名刺		2枚		か
1115	〔島内登志衛紹介状〕	楠瀬幸彦	日野			印刷、鉛筆	楠瀬幸彦名刺		1枚		か
1116	〔島内登志衛紹介状〕	小松謙介(東京朝日新聞記者)	近藤達児			印刷、ペン	小松謙介名刺		1枚		か
1117	〔島内登志衛紹介状〕	坂本和吉	坂本勘五郎			印刷、墨書	坂本和吉名刺		1枚		か
1118	〔島内登志衛紹介状〕	副島八十六	内田魯庵、田中(博士)			印刷、墨書	副島八十六名刺		1枚		か
1119	〔島内登志衛紹介状〕	高橋光威(衆議院議員)	萩野文学博士			印刷、墨書	高橋光威名刺		1枚		か
1120	〔島内登志衛紹介状〕	竹越与三郎	岡崎■■			印刷、ペン	竹越与三郎名刺		1枚		か

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
1121	〔島内登志衛紹介状〕	田所美治(文部次官)	茨木村長			印刷、墨書	田所美治名刺		1枚		か
1122	〔島内登志衛紹介状〕	徳久武治(東京興業株式会社専務取締役)	永橋至剛			印刷、墨書	徳久武治名刺		1枚		か
1123	〔島内登志衛紹介状〕	豊川良平	片岡直輝、大谷順作、金子直吉			印刷、墨書	豊川良平名刺		3枚	豊川良平名刺、3枚	か
1124	〔島内登志衛紹介状〕	能勢素海	浅草・淀橋・芝専売支局庶務課長			印刷、ペン	能勢素海名刺		3枚		か
1125	〔島内登志衛紹介状〕	日比野貞恭	岡(警視総監)、石丸(鉄道院副総裁)			印刷、墨書	日比野貞恭名刺		2枚		か
1126	〔島内登志衛紹介状〕	平岡定太郎	和田維四郎、松平頼平			印刷、墨書	平岡定太郎名刺		2枚		か
1127	〔島内登志衛紹介状〕	降旗元太郎(衆議院議員)	小泉策太郎			印刷、墨書	降旗元太郎名刺		1枚	降旗元太郎名刺、2枚	か
1128	〔島内登志衛紹介状〕	松山忠二郎	和田豊治			印刷、ペン	松山忠二郎名刺		1枚		か
1129	〔島内登志衛紹介状〕	水谷幻花(東京朝日新聞記者)	右田寅彦			印刷、墨書	水谷幻花名刺		1枚		か
1130	〔島内登志衛紹介状〕	溝淵正気	橋本久太郎・吉田輝一			印刷、ペン	溝淵正気名刺		1枚		か
1131	〔島内登志衛紹介状〕	森田勇次郎	和田伝太郎、島田宅太郎			印刷、墨書	森田勇次郎名刺		2枚		か
1132	〔島内登志衛紹介状〕	守屋恒三郎	本郷・小石川・下谷・赤坂・芝・浅草・京橋・麻布・神田・深川・四谷・牛込・日本橋・本所区長			印刷、墨書	守屋恒三郎名刺		14枚		か

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
1133	〔島内登志衛紹介状〕	山口善助(朝日新聞合資会社)	新潮社			印刷、 へ	山口善助名刺		1枚		か
1134	名刺	新井平八				印刷			1枚		ス
1135	名刺	安藤謙介				印刷			1枚		か
1136	名刺	安藤平三郎				印刷			1枚		ス
1137	名刺	伊藤松太郎 (阿南常一君推薦者)				印刷		メモあり	1枚		ヌ
1138	名刺	井上源之丞 (株式会社巴川製紙所取締役社長・凸版印刷株式会社専務取締役・東京紙器株式会社専務取締役・市田オフセット印刷株式会社取締役)				印刷			1枚		ス
1139	名刺	上野藤吉				印刷			1枚		ス
1140	名刺	宇津木八百記				印刷			1枚		ス
1141	名刺	太田季吉				印刷			1枚		ス
1142	名刺	大谷喜代造 (税務署属)				印刷			1枚		ス
1143	名刺	大平城郎				印刷			1枚		ス
1144	名刺	緒方静円				印刷			1枚		ス
1145	名刺	岡部清彦				印刷			1枚		ス
1146	名刺	小川亀市				印刷、 墨書		「千葉浜子殿 島内夫人紹介お灸の件御聴取願上候」とメモあり	1枚		ス
1147	名刺	金光義典				印刷			1枚		ス
1148	名刺	金光義典				印刷			1枚		ス
1149	名刺	川島正次郎 (東京市長秘書)				印刷			1枚		か
1150	名刺	北村忠正(共同商会)				印刷			1枚		ス
1151	名刺	桜木嘉右衛門 正俊				印刷			1枚		ス
1152	名刺	佐藤治郎(東京電気工業所)				印刷、 鉛筆			1枚		ス

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
1153	名刺	下元鹿之助				印刷			1枚		か
1154	名刺	島内登志衛 (黒潮社社長)				印刷			1枚		ス
1155	名刺	島内登志衛 (黒潮社社長)				印刷			1枚		ス
1156	名刺	島内直晴 (日本大学法科学学生)				印刷、ペン			1枚	ひも、1点	ス
1157	名刺	島内義茂				印刷			1枚		ス
1158	名刺	渋谷政七 (大正生命保険株式会社・日本教育生命保険株式会社・新日本火災海上保険株式会社主任)				印刷			1枚		ス
1159	名刺	鈴木万次郎				印刷			6枚		か
1160	名刺	関三知				印刷			1枚		ス
1161	名刺	関田駒吉 (海軍少将)				印刷			1枚		ス
1162	名刺	添田実 (電気精米・海産物・雑貨商)				印刷			1枚		ス
1163	名刺	田内幸次郎				印刷			1枚		ス
1164	名刺	高野正人 (大正活版製作所)				印刷			1枚		ス
1165	名刺	高野正人 (大正活版製作所)				印刷、ペン		島内登志衛宛メモあり	1枚		ス
1166	名刺	高野正人 (東京衛生同志会理事・大日本電信暗号協会常務理事)				印刷			1枚		ス
1167	名刺	田辺年昭 (ペイント工業諸看板製作請負・東京実業伸張社)				印刷、ペン		小伝馬町の件でのメモあり	1枚		ス

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
1168	名刺	田辺年昭 (ペイント工業諸看板製作請負・東京実業伸張社)				印刷			1枚		ス
1169	名刺	野依源吾				印刷			1枚		へ
1170	名刺	萩原末松				印刷、墨書			1枚		ス
1171	名刺	濱田稔				印刷			1枚		ス
1172	名刺	村田竹次郎				印刷			1枚		ス
1173	名刺	山崎信樹				印刷、墨書		「濱田様 此名刺ヲ持参ノ方へ御家ヲ御見セ被下度候」	1枚		ス
1174	名刺	山本勇亀				印刷			1枚		ス
1175	名刺	横山真一				印刷			1枚		か
1176	名刺	和田潤				印刷			1枚		か
メモ・その他											
1177	〔住宅探し関係メモ〕			7月5日		墨書			1枚	封筒(「岩本氏・福西氏関係」と記載あり)、1枚	ト
1178	〔資本金高等メモ〕					墨書			1枚		ト
1179	〔蒲田町元桜屋敷跡屋敷地詳細〕					墨書	罫紙		1枚		ト
1180	〔薬王寺町地所詳細図〕					墨書			1枚		ト
1181	〔亀井戸地所詳細図〕					墨書			1枚		ト
1182	〔亀井戸地所詳細〕					墨書	罫紙		1枚		ト
1183	〔麻布龍土町地所詳細〕					墨書	罫紙		1枚		ト
1184	〔麻布龍土町地所詳細〕					墨書	罫紙	1183の下書きカ	1枚		ト
1185	担保物件表示(小石川区水道町)					墨書	罫紙		1綴	(1)登記簿写(日本橋区松島町)、1綴 / (2)松島町略図、1枚 / (3)封筒、1枚	ト
1186	〔抵当メモ〕					墨書			1枚		ソ
1187	〔豊多摩郡杉並村高円寺抵当明細〕					墨書			1綴		ソ
1188	〔中野町西町濱田氏邸現況メモ〕					墨書	罫紙		2枚	濱田氏邸図面、1枚	ソ
1189	〔浜田氏邸図面〕					墨書			1枚		ソ
1190	〔地主所持地反別・地価メモ〕					墨書	罫紙		2枚		ソ

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
1191	〔地主所持地地図〕					ペン		3枚の内容はほぼ同じ	3枚		ソ
1192	〔土地購入希望者につきメモ〕					墨書			1枚		ツ
1193	〔豊多摩郡渋谷町大字上渋谷ほか土地書き上げ〕					ペン	罫紙		1枚		ツ
1194	〔金借入条件メモ〕					ペン	罫紙		1枚		ツ
1195	〔借金契約更新メモ〕					ペン			1枚		ツ
1196	〔借金抵当メモ〕					鉛筆、墨書			3枚	封筒(「鉄川の分」と記される)、1枚	ツ
1197	〔土地売金メモ〕					鉛筆、墨書		いずれも「鉄川六月八日午後接手、同夜福西へ」と朱書あり	3枚		ツ
1198	〔土地売金・借入金メモ〕					ペン、墨書			2枚	封筒(「鉄川 砂土原町・富久町 五月六日」と記される)、1枚	ツ
1199	〔麴町区平河町土地売金メモ〕					墨書			1枚		ツ
1200	〔住宅図面・メモ〕					鉛筆、墨書			3枚	封筒、1枚	ネ
1201	〔玉川・境・四谷見附内大塚の地図〕					鉛筆、墨書			4枚	封筒、1枚	コ
1202	〔赤坂氷川町邸宅地図〕					墨書			2枚	封筒、1枚	コ
1203	〔麴町八丁目神保邸売価メモ〕					ペン			1枚		ツ
1204	〔世田谷村大字代田字宮前地所売却願〕			大正11年5月		墨書			1枚		ツ
1205	〔借金申込書〕	今井恒郎				墨書			1綴	封筒(「佐藤氏関係・鉄川氏関係・森氏関係」と記される)、1枚	ツ
1206	登記簿写	松本元治郎 (司法代言人)		大正11年6月24日		墨書			1綴	(1)荏原郡世田谷村大字代田字宮前土地書き上げ、1綴 ／(2)封筒、1枚	ツ
1207	請求書	江間留吉(洗濯工場)	島内	大正11年6月30日		印刷、ペン			1枚		ツ
1208	〔画帖〕					墨書			1綴	水墨画断簡、2枚	
1209	〔帝国青年読本リスト〕					墨書	靖献社原稿用紙		1枚		
1210	〔書名リスト〕					墨書	靖献社原稿用紙		1綴		
1211	〔調理法メモ〕					墨書			2枚		

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
1212	〔活動館明細一覧表〕					墨書	罫紙	174の別紙カ	1枚		ツ,a
1213	〔借金抵当メモ〕					ペン、 墨書	江平林作 (東京市会 議員候補 者)ピラの 裏面を使用		1枚		ツ
1214	〔借金抵当メモ〕					墨書	罫紙		1枚		ネ
1215	〔質入書目明細〕	島内登志衛		大正8年		カーボ ン、墨 書			1綴		キ
1216	大目村視察報告		立憲同志会 幹部	大正2年5月31日		墨書	罫紙		1綴		サ
1217	〔墓石の諸形状メモ〕					墨書			1枚	封筒(「墓石の沿革」と記載あり)、 1枚	シ
1218	〔身体検査関連メモ〕					ペン			1枚		セ
1219	〔住江丁二郎住所メモ〕					墨書			1枚		セ
1220	〔住所録〕					墨書、 ペン			1冊		
1221	大正九年二月以降記憶 之借宅				経費書上げ	墨書			1冊		か
1222	土佐知友名簿	島内登志衛		大正5年4月		墨書、 ペン			1冊		
1223	交友帳 甲			大正8年11月		墨書	罫紙		1冊		
1224	交友簿			大正10年12月		墨書	罫紙		1冊		
1225	珍姓録			大正8年9月14日～		墨書	罫紙		1冊		
1226	『我楽苦多草子 完』					墨書			1冊		
1227	『柏堂蔵書目録 一』					墨書			1冊		
1228	新年絵はがき封筒							漢詩書き込みあり	1枚	ひも、1点	へ
1229	長瀬本店移転案内	長瀬兵馬		大正10年2月20日		印刷			1枚		へ
1230	保健案内	常磐生命保険 株式会社				印刷			1枚		へ
1231	北日本木材株式会社創 立趣意書・起業目論見 書・定款	北日本木材株 式会社		大正9年1月10日		印刷		ペンにて修正のあ とあり	1枚	株式申込書、1枚	へ
1232	厚睦会趣旨書					印刷			1枚		へ
1233	京橋著金銀行明細書					鉛筆、 墨書			2枚	封筒、1枚	ト
1234	〔山与借金関係書類〕					墨書、 カーボ ン		写	7点	封筒、1枚	ヌ
1235	借用証			大正11年6月6日		謄写(手 書)		写	1枚		ヌ

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
1236	〔種痘済証〕	片桐為弥(内科児科医院)		明治41年1月30日 ～明治41年2月17日		印刷、 ペン			6枚	封筒、1枚	
1237	〔種痘済証〕			大正3年4月5日～ 大正5年3月13日		印刷、 ペン			4枚	封筒(「しぶぞをの ほふそのつけ」と 記される)、1枚	
1238	薬価明細	片岡医院会計	島内登志衛	大正7年12月		印刷、 ペン			1枚	封筒、1枚	コ
1239	明細書	片岡医院会計	島内登志衛	大正8年2月		印刷、 ペン			1枚	封筒、1枚	コ
1240	〔借金申込書〕	尾形某				墨書	罫紙		1枚	封筒、1枚	ネ
1241	手帳				北海道出張時諸費控、住所 録など	墨書・ 鉛筆			1冊	ひも、1点	か
1242	電話番号メモ帳					墨書・ 鉛筆			1冊		か
1243	メモ帳				鉱床所在地、長森藤吉郎氏 との利益分配口約覚	墨書			1綴		か
1244	封筒					墨書		「青柳関係 胡 桃」と記載あり	1枚		ウ
1245	〔製材の仕様図〕					印刷			1枚		ウ
1246	〔北見国紋別郡下湧別 村材積調査書〕			大正8年8月		カーボ ン	罫紙		1枚		ウ
1247	胡桃銃床木並小切材寸 度					印刷			1枚		ウ
1248	〔クルミ存在地略図〕					墨書			1枚		
1249	〔電話料金関係調査 綴〕					印刷			1綴	ひも、1点	キ
1250	〔平谷・靱両製材所の 収支見込み〕					謄写(手 書)	罫紙		1綴	(1)ひも、1点 / (2) 封筒(「諸方の山林」 と記載あり)、1枚	フ,a
1251	〔東洋木材製炭株式会 社概要〕					謄写(手 書)	罫紙		1綴		フ,a
1252	〔長野県山林・愛知県 亜炭鉱区に関するメ モ〕	松崎友太郎・ 大桑友次郎・ 加藤亮三				墨書			1枚	封筒、1枚	フ
1253	〔北海道行きの際の諸 受取証〕			大正8年		印刷、 ペン			42枚	(1)封筒、1枚 / (2)ひも、1点	コ
1254	金預証	平松諒三	島内登志衛	大正8年6月5日		墨書	罫紙		1枚	(1)契約書、1枚 / (2)金受領証、1 枚 / (3)封筒、1 枚	コ
1255	近畿行宿料受取書			大正7年11月		印刷、 墨書			8枚	封筒、1枚	コ

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
1256	〔青森行き費用計算書〕					墨書	罫紙		1綴	(1)受取書、2枚 ／(2)メモ、1枚 ／(3)封筒、1枚	コ
1257	払出通知票	広江信一(陸軍東京経理部主任現金前渡官吏)	島内登志衛	大正8年6月21日		印刷、 ペン			1枚	封筒、1枚	セ
1258	払出通知票	広江信一(陸軍東京経理部主任現金前渡官吏)	島内登志衛	大正8年10月18日		印刷、 ペン			1枚	封筒、1枚	コ
1259	約束手形	島内登志衛	坂本和吉	大正11年5月21日	金600円	印刷、 墨書			1枚		セ
1260	約束手形	島内登志衛	坂本和吉	大正11年5月21日	金193円	印刷、 墨書			1枚		セ
1261	約束手形	島内登志衛	坂本和吉	大正11年8月18日	金240円	印刷、 墨書			1枚		セ
1262	払出通知票	園部収一(陸軍東京経理部分任資金前渡官吏)	島内登志衛	大正11年8月17日		印刷、 ペン			1枚	封筒、1枚	セ
1263	小為替金受領証書			大正11年2月8日		印刷、 ペン			1枚		セ
1264	振替貯金受払通知票	東京振替貯金課		大正12年4月14日		印刷、 ペン			1枚	(1)振替貯金局待払 払出内訳票、1枚 ／(2)封筒、1枚	セ
1265	振替貯金受払通知票	東京振替貯金課		大正12年4月5日		印刷、 ペン			1枚	封筒、1枚	セ
1266	振替貯金受払通知票	東京振替貯金課		大正12年4月30日		印刷、 ペン			1枚	(1)振替貯金局待払 払出内訳票、1枚 ／(2)封筒、1枚	セ
1267	振替貯金受払通知票	為替貯金局		大正7年8月14日～ 大正8年5月8日		印刷、 墨書		もとクリップ一括	13枚		き
1268	払出通知票	逓信省		大正8年4月24日		印刷、 ペン		もとクリップ一括	1枚	黒潮社宛払込通知 票、5枚	き
1269	振替貯金受払通知票	為替貯金局		大正7年6月25日～ 大正7年8月9日		印刷、 ペン			1綴		き
1270	ひも								1点		き,a
1271	払込通知票		黒潮社	大正6年11月2日～ 大正7年1月22日		印刷、 ペン			1綴		き,a
1272	振替貯金受払通知票	為替貯金局		大正6年10月31日 ～大正7年1月24日		印刷、 ペン			1綴		き,a
1273	振替貯金受払通知票	為替貯金局		大正7年1月20日		印刷、 ペン			1枚		き,a

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
1274	払込通知票		黒潮社	大正7年6月24日～ 大正7年8月6日		印刷、 墨書			1綴		き
1275	〔島内志剛成績通報〕	島内志剛・肥 田鎮夫	島内登志衛	大正3年2月10日		墨書	罫紙		1通	封筒、1枚	メ
1276	〔外套寸法・スケッ チ〕					ペン	罫紙		2枚		コ
1277	〔元金利子明細〕					墨書	罫紙		1枚		セ
1278	勘定書	帝国実業貯蓄 銀行	坂本	大正11年8月18日		印刷、 ペン			1枚		セ
1279	〔組合費領収証〕	東京書籍商組 合事務所	島内登志衛	大正11年10月15日		印刷、 墨書			1枚		セ
1280	〔組合費領収証〕	東京書籍商組 合事務所	島内登志衛	大正11年11月		印刷、 墨書			1枚		セ
1281	大陽買入調					墨書	罫紙		2枚	封筒（「大陽冊数 調」と記載あ り）、1枚	セ
1282	米味噌分配券					印刷、 ペン			1枚		セ
1283	〔請求書〕	高知県香美郡 三島村役場	島内幸子	大正12年4月11日		ペン	香美郡三島 村役場罫紙		1枚	封筒、1枚	セ
1284	土佐同盟汽船会社乗船 運賃割引証	高知土木出版 所	島内丑			印刷、 ペン			1枚		セ
1285	大正十一年事業報告	鈴木梅四郎 (麴町区衛生 組合長)		大正12年5月		印刷			1枚	〔麴町区衛生組合 活動案内〕、1枚	セ
1286	東京大阪両朝日新聞社 物故社員招魂祭式次第			大正12年2月23日		印刷			1枚	東京大阪両朝日新 聞社招魂祭霊名、 1枚	セ
1287	永田・田所両家結婚披 露宴余興番組			大正9年3月28日		印刷			1点	ひも、1点	き
1288	請求書	岡村一良	島内登志衛	大正7年8月8日	『南路志』筆耕料・用紙代	墨書			2枚	封筒、1枚	
1289	阿南常一カード	阿南常一君推 薦団			東京市議員二級候補者の 推薦カード	印刷		メモあり	1枚		ヌ
1290	包紙								1枚		
1291	包紙					墨書		「将軍の文案にあ らず 他人のもの なり」と記される	1枚		
1292	厚紙								1点		
1293	厚紙								1点		
1294	封筒					墨書		「大正八年五月 天塩国常磐御料地 ノ件」と記載あり	1点		
1295	封筒					墨書		「薄怨一」と記載 あり	1枚		コ
1296	封筒		島内丑			墨書	麴町郵便局 封筒	封筒のみ	1枚	郵便物持戻事由 書、1枚	セ

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
1297	封筒							「紹介名刺」と記載あり	1枚		か
1298	包紙								1枚		
1299	封筒								1点		
刊本・写本・切抜類											
【1.刊本・写本】											
1300	『大正十年九星便』	吉田信一		大正9年11月1日		印刷			1冊	封筒(「雑 附三武氏」と記載あり)、1枚	又
1301	『大正十年毎夕便覧』	東京毎夕新聞社		大正10年1月1日		印刷			1冊		又
1302	『国民皆兵主義』	楠瀬幸彦		大正5年11月18日		印刷			同文3冊		
1303	『新家春三翁伝記』	遊亀斎春吉・川村孝忠		明治42年6月27日		印刷			1冊		
1304	『義士』	中央義士会				印刷		封筒の消印は大正12年5月14日	1冊	(1)大石内蔵之助詠草、1枚 / (2)封筒、1枚	
1305	POPULAR VARIATIONS TANGO					印刷			1綴		
1306	POPULAR VARIATIONS FOXTROT					印刷			1綴		
1307	POPULAR VARIATIONS QUICKSTEP					印刷			1綴		
1308	POPULAR VARIATIONS WALTZ					印刷			1綴		
1309	書帖				林有造の墨蹟ほか	墨書			1帖	帙、1点	
1310	〔武門要鑑抄ほか写〕				武門要鑑抄巻1~7、兵道鏡、城取伝切紙	墨書			8綴	厚紙、2枚	
1311	国友重章『間島視察報告』写			明治40年8月		墨書	柏堂文稿紙	原本は明治39年3月	1綴		
1312	『三河国古城記』写					墨書	靖献社原稿用紙		1綴		
1313	「土佐崎人伝巻三」原稿					墨書、朱墨書	罫紙		1綴		
1314	「土佐崎人伝巻四」原稿					墨書、朱墨書	罫紙		1綴		
1315	「土佐崎人伝巻五」原稿					墨書、朱墨書	罫紙		1綴		
1316	「土佐崎人伝巻六」原稿					墨書	罫紙		1綴		
1317	「土佐崎人伝巻七」原稿					墨書	罫紙		1綴		

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
1318	「土佐崎人伝巻八」原稿					墨書、朱墨書	罫紙		1綴		
1319	『世話千字文』	嶋内和太蔵 [写]		明治10年4月8日		墨書			1冊		
1320	『大韓疆域考』巻之九(写)					墨書			1冊		
1321	大学 全			明治18年12月14日		墨書		写本	1冊		
1322	南路志巻百八 年譜拾遺十三目録 一孕石小右衛門元政寛文十一亥					墨書			102枚	ひも、1点	
1323	[南路志巻百十一]					墨書		前欠	76枚	ひも、1点	
1324	南路志巻百十二 年譜拾遺十七目録 一板垣氏自家雑記上巻					墨書			58枚	ひも、1点	
1325	南路志巻百十四 年譜拾遺十九目録 一板垣氏自家雑記下巻					墨書			64枚	ひも、1点	
1326	経■■■■■[虫損]之法聞書					墨書			1綴		
1327	匹夫用法					墨書			1綴		
1328	風山先生禁戒					墨書			1枚		
1329	斥候上					墨書			1綴		
1330	幡魂四種の奥義					墨書			1綴		
1331	風山流百箇条					墨書			1綴		
1332	謙信流域取極秘切紙					墨書			1綴		
1333	義経軍歌					墨書			1綴		
1334	兵法五大之巻					墨書			1綴		
1335	切合思当録					墨書			1綴		
1336	伝授切紙控書					墨書			1綴		
1337	伊賀風山先生略伝					墨書			1綴		
1338	国政伝切紙					墨書			1綴		
1339	足軽立之法					墨書			1綴		
1340	太子流神秘巻					墨書			1綴		
1341	大秘兵法之書					墨書			1綴		
1342	別伝切紙					墨書			1綴		
1343	号令伝切紙					墨書			1綴		
1344	神軍伝(玉方陳説)					墨書			1綴		
1345	神軍伝由来之記					墨書			1綴		
1346	神軍伝(太子流神秘巻)					墨書			1綴		
1347	宿入図					墨書			1綴		
1348	行列量法					墨書			1綴		
1349	要門遍唄切紙					墨書			1綴		
1350	『人類の将来』目次					墨書	罫紙		1綴		
1351	古今諸名家印譜鑑	石田忠兵衛		大正2年2月		印刷		裏面は「書画名家一覧」	1枚		中

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
1352	国勢一覽	東洋経済新報社		明治40年11月		印刷			1枚		斗
1353	在京樺太縁故者氏名住所録	樺太協会		大正2年4月10日		印刷			1枚		斗
1354	「清国新政治組織通表(備考)」	青柳篤恒		明治42年5月		印刷			1枚		斗
1355	明治四十一年財政経済要覽	大阪朝日新聞社		明治42年1月2日		印刷			1枚		斗,a
1356	財政経済統計表	大阪毎日新聞社		明治41年12月		印刷			1枚		斗,a
1357	金魚の娯楽	観魚会		明治36年4月		印刷			1綴		
1358	大仏殿由緒概略	奈良東大寺				印刷			1枚		
1359	〔東京電機製造株式会社のカタログ類〕	東京電機製造株式会社				印刷			7枚	封筒、1点	
1360	ライオン当用日記案内	ライオン歯磨本舗広告部	島内登志衛	大正12年4月		印刷			1枚	封筒、1枚	セ
1361	第四十回帝国議会衆議院議員一覽表			大正6年12月28日		印刷			1枚		
1362	「日立モーター」チラシ	東京電機工業所				印刷			同文5枚	ひも、1点	け
1363	『ロイド指定ワイヤロープ』	守谷商会				印刷			1冊		け
1364	「シャベル・スコップ」チラシ	東京電機工業所				印刷			同文2枚		け
1365	『鋳山機械製品目録』	大塚工場				印刷			同文2冊		け
1366	『チルド車輪目録』	大塚工場				印刷			1冊		け
1367	『株式会社碌々商店代価表』			大正9年1月		印刷			1冊		け
1368	「交流発電機」チラシ	東京電機工業所				印刷			1冊		け
1369	"Hitachi"	Hitachi Engineering Works				印刷			1冊		け
【2.刊行物切抜・抜書】											
1370	島田三郎『開国始末』抜書				「日支は外国貿易を局限せり」	墨書	罫紙		1綴	ひも、1点	ロ
1371	〔雑誌等記事抜書綴〕				「北米四百の女子九億弗を歐洲華族に払う」ほか	墨書、ペン	罫紙		1綴		ロ
1372	ひも								1点		ロ,a
1373	〔雑誌等記事抜書綴〕				「保護主義と大国」ほか	墨書、ペン	罫紙		1綴		ロ,a
1374	〔雑誌等記事抜書綴〕				「黒奴の議員」ほか	墨書、ペン	罫紙		1綴		ロ,a
1375	〔雑誌等記事抜書綴〕				「人造絹糸恐るるに足らず」ほか	墨書、ペン	罫紙		1綴		ロ,a

島内登志衛関係文書目録

請求 番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注 記
1376	〔雑誌等記事抜書綴〕				「関税戦争と伊国の損失」 ほか	墨書、 ペン	罫紙		1綴		ロ,a
1377	〔雑誌等記事抜書綴〕				「印人の英人に対する不 平」ほか	墨書、 ペン	罫紙		1綴	ひも、1点	ロ
1378	ひも								1点		ロ,b
1379	〔雑誌等記事抜書綴〕				「黄人禍の防衛」ほか	墨書、 ペン	罫紙		1綴		ロ,b
1380	〔雑誌等記事抜書綴〕				「奢侈人種の滅亡」ほか	墨書	罫紙		1綴		ロ,b
1381	〔雑誌等記事抜書綴〕				「人口の増加と生計の困難 (移住の原因)」ほか	墨書、 ペン	罫紙		1綴		ロ,b
1382	ひも								1点		ロ,c
1383	〔雑誌等記事抜書綴〕				「日本将来の活躍」ほか	墨書、 ペン	罫紙		1綴		ロ,c
1384	〔雑誌等記事抜書綴〕				「海事思想及国家的観念」 ほか	墨書、 ペン	罫紙		1綴		ロ,c
1385	〔雑誌等記事抜書綴〕				「南洋土人の日本景慕一 班」ほか	墨書、 ペン	罫紙		1綴		ロ,c
1386	〔雑誌等記事抜書綴〕				「北守南進」ほか	墨書、 ペン	罫紙		1綴		ロ,c
1387	〔雑誌等記事抜書綴〕				「日人清人の性格を变ずる 能はざるべし」ほか	墨書	罫紙		1綴		ロ,c
1388	〔雑誌等記事抜書綴〕				「日人の特色」ほか	墨書、 ペン	罫紙		1綴		ロ,c
1389	ひも								1点		ロ,d
1390	〔雑誌等記事抜書綴〕				「戦争の減少と平和の大 勢」ほか	墨書	罫紙		1綴		ロ,d
1391	〔雑誌等記事抜書綴〕				「戦争は人間の天性也」ほ か	墨書、 ペン	罫紙		1綴		ロ,d
1392	〔雑誌等記事抜書綴〕				「領土広からざれば国強か らず」ほか	墨書、 ペン	罫紙		1綴		ロ,d
1393	ひも								1点		ロ,e
1394	〔雑誌等記事抜書綴〕				「人口問題解決の一方法 海外移民」ほか	墨書、 ペン	罫紙		1綴		ロ,e
1395	〔雑誌等記事抜書綴〕				「人口停滞に及ぼしたる政 治の原因」ほか	墨書、 ペン	罫紙		1綴	「欧州の人口減少 の六大原因」(新聞 記事切抜)、1枚	ロ,e
1396	〔雑誌等記事抜書綴〕				「人口増加は国富開発国民 膨張の動機」ほか	墨書	罫紙		1綴		ロ,e
1397	〔雑誌等記事抜書綴〕				「独乙の人口増加」ほか	墨書	罫紙		1綴		ロ,e
1398	〔雑誌等記事抜書綴〕				「我人口収容力と海外発展 の余地」ほか	墨書、 ペン	罫紙		1綴		ロ,e
1399	〔雑誌等記事抜書綴〕				「世界人口移動の大勢」ほ か	墨書、 ペン	罫紙		1綴		ロ,e
1400	「今日の印度」(新聞記 事切抜)	山上天川				印刷		もとは金属製ク リップではさまれ ていた	1綴		

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
1401	「白人閥の打破」(『大阪朝日新聞』記事切抜)	末広重雄[述]		大正8年2月		印刷			4枚	包紙、1枚	⊕
1402	〔対外関係論説書抜綴〕					ペン、墨書	罫紙		1綴		
1403	〔中国関係論説書抜綴〕					墨書	罫紙		1綴		
1404	〔日本国民論関係論説書抜綴〕					墨書	罫紙		1綴		
1405	「仏国に於ける人口増殖の奨励」写					墨書	罫紙		1綴		
1406	ひも								1点		ノ
1407	「全米主義」写					ペン	罫紙	竹島慶四郎『列強間の日本』第五章中	1枚		ノ
1408	「独と墺、和併合の時機」写					ペン	罫紙	竹島慶四郎『列強間の日本』第五章中	1枚		ノ
1409	〔米清関係論説書抜綴〕					墨書、ペン	罫紙		1綴		ノ
1410	〔日米関係論説書抜綴〕					墨書、ペン	罫紙		1綴		ノ
1411	〔米比関係論説書抜綴〕					墨書、ペン	罫紙		1綴		ノ
1412	「亜細亜の支配は露の権力なり」					墨書	罫紙	明治37年8月『国民』中	1枚		ノ
1413	「人口と人格」					墨書	罫紙	島田三郎『日本と露西亜』中	1枚		ノ
1414	「日英同盟の不正と米独同盟の必要」					墨書	罫紙	明治41年12月29日『大阪朝日新聞』中	1枚		ノ
1415	「英米提挈論」					墨書	罫紙	明治31年8月『東邦協会会報』中	2枚		ノ
1416	「米独と日英仏露の対抗」					墨書	罫紙	明治43年8月15日『日本及日本人』中	1枚		ノ
1417	ひも								1点		オ
1418	〔移民植民関係論説書抜綴〕					墨書、ペン	罫紙		1綴		オ
1419	〔日系移民関係論説書抜綴〕					墨書、ペン	罫紙		1綴		オ
1420	ひも								1点		ク
1421	〔農業生産関係論説書抜綴〕					墨書	罫紙		1綴		ク
1422	〔土地利用関係論説書抜綴〕					墨書、ペン	罫紙		1綴		ク

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
1423	〔土地・食料生産関係論説書抜綴〕					墨書	罫紙		1綴		ク
1424	ひも								1点		ヤ
1425	〔日清関係論説書抜綴〕					墨書、ペン	罫紙		1綴		ヤ
1426	〔貧困関係論説書抜綴〕					墨書、ペン	罫紙		1綴		ヤ
1427	〔世界合同関係論説書抜綴〕					墨書、ペン	罫紙		1綴		ヤ
1428	ひも								1点		マ
1429	〔日本人排斥関係論説書抜綴〕					墨書、ペン	罫紙		1綴		マ
1430	〔中国人排斥関係論説書抜綴〕					墨書、ペン	罫紙		1綴		マ
1431	〔南米・豪州での有色人種排斥関係論説書抜綴〕					墨書、ペン	罫紙		1綴		マ
1432	〔日本人排斥関係論説書抜綴〕					墨書、ペン	罫紙		1綴		マ
1433	ひも								1点		ケ
1434	〔ベルシャ独立関係論説書抜綴〕					墨書	罫紙		1綴		ケ
1435	〔カナダ関係論説書抜綴〕					墨書、ペン	罫紙		1綴		ケ
1436	〔インドシナ関係論説書抜綴〕					墨書、ペン	罫紙		1綴		ケ
1437	〔政党政治関係論説書抜綴〕					墨書、ペン	罫紙		1綴		ケ
1438	〔独裁政体関係論説書抜綴〕					墨書、ペン	罫紙		1綴		ケ
1439	〔ロシア関係論説書抜綴〕					墨書、ペン	罫紙		1綴		ケ
1440	〔アメリカ関係論説書抜綴〕					墨書、ペン	罫紙		1綴		ケ
1441	〔フランス関係論説書抜綴〕					墨書	罫紙		1綴		ケ
1442	〔ドイツ関係論説書抜綴〕					墨書、ペン	罫紙		1綴		ケ
1443	〔英独対立関係論説書抜綴〕					墨書、ペン	罫紙		1綴		ケ
1444	〔イギリス関係論説書抜綴〕					墨書、ペン	罫紙		1綴		ケ
1445	〔トルコ関係論説書抜綴〕					墨書、ペン	罫紙		1綴		ケ
1446	封筒							「大石関係書」と記載あり	1枚	包紙（「大石退隠事情」と記載された新聞紙）、1枚	い

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
1447	〔大石正巳退隠関係新聞記事切抜〕								7点	包紙（「大石退隠事情」と記載された新聞紙）、1枚	い
1448	「深憂に勝へず（大石正巳氏縦談）」	東京朝日新聞		大正5年3月16日		印刷			1点		い
1449	〔大石正巳退隠関係新聞記事切抜〕			大正4年1月10日～11日	掲載紙は高知新聞、朝刊中央新聞	印刷			2点		い
1450	「大石新入道の説法振」（朝刊中央新聞記事切抜）	朝刊中央新聞		大正4年1月11日		印刷			1点		い
1451	「大石正巳氏の談」（朝刊中央新聞記事切抜）	朝刊中央新聞		大正4年1月11日		印刷			1点		い
1452	〔大石正巳退隠関係新聞記事切抜〕			大正4年1月10日～11日	掲載紙は萬朝報、時事新報、国民新聞ほか	印刷			49点		い
1453	「欧州戦局表(八七)」（新聞記事切抜）					印刷			1点		い
1454	民事問題一(新聞記事スクラップ)					印刷			1冊		
1455	ひも								1点		く
1456	〔中国人に関する論説記事抜書〕					墨書	罫紙		1綴		く
1457	〔日中関係論説記事抜書〕					墨書	罫紙		1綴		く
1458	〔満漢関係についての論説記事抜書〕					墨書	罫紙		1綴		く
1459	〔在外中国人についての論説記事抜書〕					墨書	罫紙		1綴		く
1460	〔支那分割関係論説記事抜書〕					墨書	罫紙		1綴		く
1461	〔中国観関係記事抜書〕					墨書	罫紙		1綴		く
1462	〔欧州各国の動向関係記事抜書〕					墨書	罫紙		1綴		く
1463	「少彦名命の研究」	喜田貞吉				印刷		大正10年1月発行『民族と歴史』第5巻第1号抜粋	1冊		
地図											
1464	訂正京都市街及各所全図	浅井広信		明治28年4月		印刷			1枚		斗
1465	神戸市新図	高梨弥三郎		明治34年9月		印刷			1枚		斗
1466	亜細亜東部輿地図	博愛館		明治35年3月15日		印刷			1枚		斗
1467	高知図幅	農商務省地質調査所		明治35年3月25日		印刷			1枚		斗
1468	英国勢力一覽図	金港堂		明治35年5月		印刷			1枚		斗

島内登志衛関係文書目録

請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料	合綴注記
1469	支那現勢地図	東邦協会		明治35年8月30日		印刷			1枚	帙、1点	⊕
1470	東京市全図	日報社		明治36年1月1日		印刷			1枚		⊕
1471	最近実測浦潮斯徳防備図	金港堂		明治37年3月26日		印刷			1枚		⊕
1472	最新詳密世界全地図	東京地理調査会		明治37年10月		印刷			1枚		⊕
1473	実地踏測大阪市街全図	中村伊助		明治39年1月		印刷		裏面は「名勝案内記」	1枚		⊕
1474	〔日高国静内郡内五万分の一地形図〕	北海道庁		明治41年8月～大正元年11月		印刷			5枚		
1475	東京及富士近県地図	金松堂		明治42年5月		印刷			1枚		⊕
1476	高知県全図	博愛館		大正元年10月1日		印刷			1枚		⊕
1477	五万分の一地形図「永山」	北海道庁		大正元年11月		印刷			1枚		⊕
1478	宇都宮前橋地方近県旅行地図	雄文館		大正2年2月		印刷			1枚		⊕
1479	列強大戦争地図	大阪毎日新聞社		大正3年8月21日		印刷			1枚		⊕
1480	欧羅巴戦局地図	大阪朝日新聞社		大正3年8月25日		印刷			1枚		⊕
1481	欧洲列強陸海軍備地図	博文館		大正3年8月		印刷			1枚		⊕
1482	日独戦局地図	大阪朝日新聞社		大正3年9月10日		印刷			1枚		⊕
1483	海陸軍用極東全図	東京朝日新聞社		大正3年9月15日		印刷			1枚		⊕
1484	膠州湾攻囲戦局詳図	大阪毎日新聞社		大正3年10月1日		印刷			1枚		⊕
1485	膠州湾征独地図	大阪毎日新聞社		大正3年10月1日		印刷			1枚		⊕
1486	欧亜戦局明細地図	高知新聞		大正3年10月4日		印刷			1枚		⊕
1487	東京西部近郊図	大日本帝国陸地測量部		大正3年12月		印刷			1枚		⊕
1488	栃木県全図	木崎盛政		大正5年6月		印刷			1枚		⊕
1489	最新番地入東京郊外地図	片山富文館		大正6年4月20日		印刷		裏面は「東京郊外遊覧案内」	1枚		⊕
1490	五万分の一地形図「チュプウシュヌプリ」	北海道庁		大正6年11月		印刷			1枚		⊕,b
1491	五万分の一地形図「染退川」	北海道庁		大正元年11月		印刷			1枚		⊕,b,1
1492	新冠御料牧場全図					印刷			1枚		⊕,b,1
1493	神戸市街全図	和楽路屋		大正7年5月		印刷			1枚		⊕
1494	札幌市街之図	北海石版所		大正7年7月		印刷			1枚		⊕
1495	新世界地図	大阪朝日新聞社		大正8年9月10日		印刷			1枚		⊕
1496	最近実測哈爾濱市街全図	安高洋行				印刷		書込みあり	1枚		⊕
1497	〔ニューヨーク地図〕	〔紐育土地建物株式会社〕				印刷			1枚		⊕